

平成30年度 東京都 スポーツ推進企業取組事例集



東京都オリンピック・パラリンピック準備局
Bureau of Olympic and Paralympic Games Tokyo 2020 Preparation

はじめに

東京都は平成30(2018)年3月に「東京都スポーツ推進総合計画」を策定し、その中で「スポーツの力で東京の未来を創る」という基本理念のもと、2020年までに都民のスポーツ実施率※70%を達成し、誰もがいつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しみ、スポーツの力で人と都市が活性化する「スポーツ都市東京」の実現を掲げています。

※ 週1回以上スポーツを実施する18歳以上の人の割合

平成30(2018)年度に東京都が実施した世論調査では、都民のスポーツ実施率は全体で57.2%ですが、20歳代から40歳代までの「働き盛り世代」を平均すると、直近10年においても連続で50%に満たない状況にあります。

スポーツ・運動を実施した頻度が週1回に満たなかった理由として、仕事や家事・育児により時間がないことを挙げる人が多く、この世代が1日の大半の時間を過ごす企業での取組が重要です。

また、来年に控えた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、企業のスポーツに対する関心がますます高まり、スポーツを推進する担い手としての存在感が増す中、企業と連携し、スポーツの裾野を拡大していくことが重要です。

そこで、東京都では、スポーツに対する社内外への積極的な取組をしている企業を都が認定し、取組事例集としてとりまとめ広く都民に周知することで、働き盛り世代のスポーツ活動を推進する「東京都スポーツ推進企業認定制度」を平成27年度に創設いたしました。

特に、社会的な影響や波及効果の大きい取組をしている「東京都スポーツ推進モデル企業」の選定に当たっては、社員が行うスポーツ活動の支援や促進に向けた取組を実施している「スポーツの実践」部門、アスリートの雇用や社有スポーツ施設の地域開放などスポーツを支援している「スポーツの支援」部門の2つの部門に分け、企業の取組をより明確に示しております。

本事例集では、平成30(2018)年度に認定した東京都スポーツ推進企業266社の取組事例を紹介しております。是非、これらの取組を参考に、より多くの企業においてスポーツの実践等に取り組んでいただきたいと思います。本事例集が企業にとってスポーツ活動のきっかけとなれば幸いです。

平成31(2019)年3月

東京都オリンピック・パラリンピック準備局

目 次

東京都のスポーツをめぐる現状	3
平成 30年度東京都スポーツ推進企業認定制度の概要	5
平成 30年度東京都スポーツ推進モデル企業取組事例	
○実践(50音順)	
① 株式会社アロー.....	6
② キヤノン株式会社.....	8
③ 株式会社協和.....	10
④ 全日本空輸株式会社.....	12
⑤ 三井住友海上火災保険株式会社.....	14
⑥ 明治安田生命保険相互会社.....	16
○支援(50音順)	
① あいおいニッセイ同和損害保険株式会社.....	18
② 株式会社かんぽ生命保険.....	20
③ 城北信用金庫.....	22
④ 日本航空株式会社.....	24
⑤ 日本写真判定株式会社.....	26
平成30年度東京都スポーツ推進企業一覧(50音順)	28
平成30年度東京都スポーツ推進モデル企業選定委員会	93

東京都のスポーツをめぐる現状

◆東京都の目標

2020年までに、都民のスポーツ実施率(週1回以上スポーツを実施する18歳以上の人の割合)70%を達成し、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しみ、スポーツの力で人と都市が活性化する「スポーツ都市東京」を実現します。

ここでいうスポーツとは

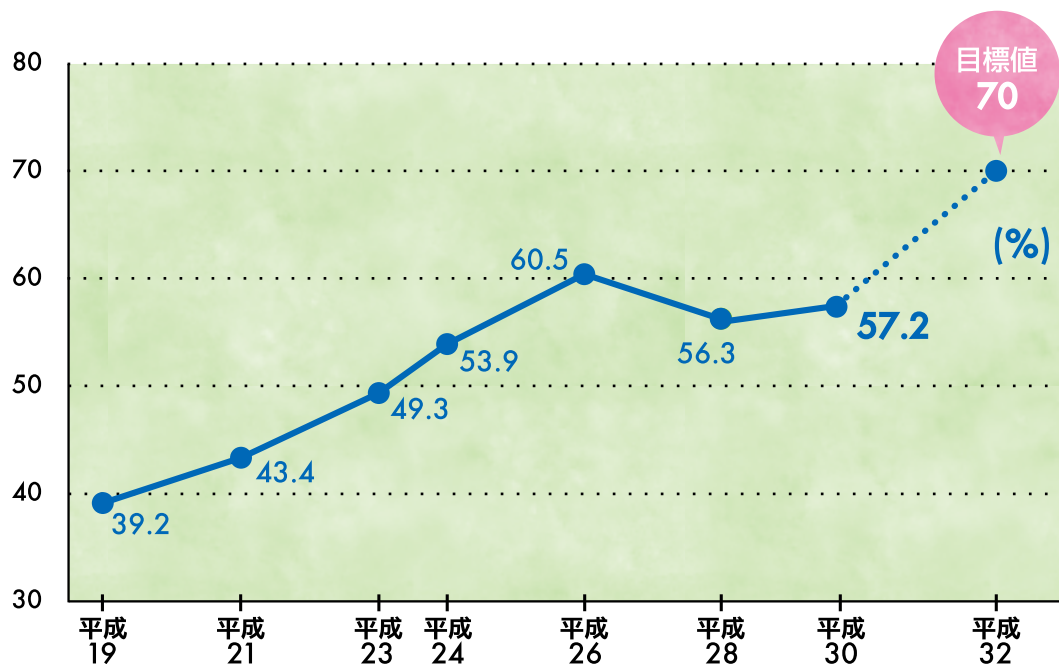
ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツだけではなく、健康や遊び、楽しみを目的とした身体活動まで幅広く含むものとして捉えています。

スポーツをより身近なものとし、これまでスポーツに縁のなかった方にも気軽に楽しんでもいただくため、スポーツの概念を幅広く捉えています。

スポーツ実施率に関する現状分析

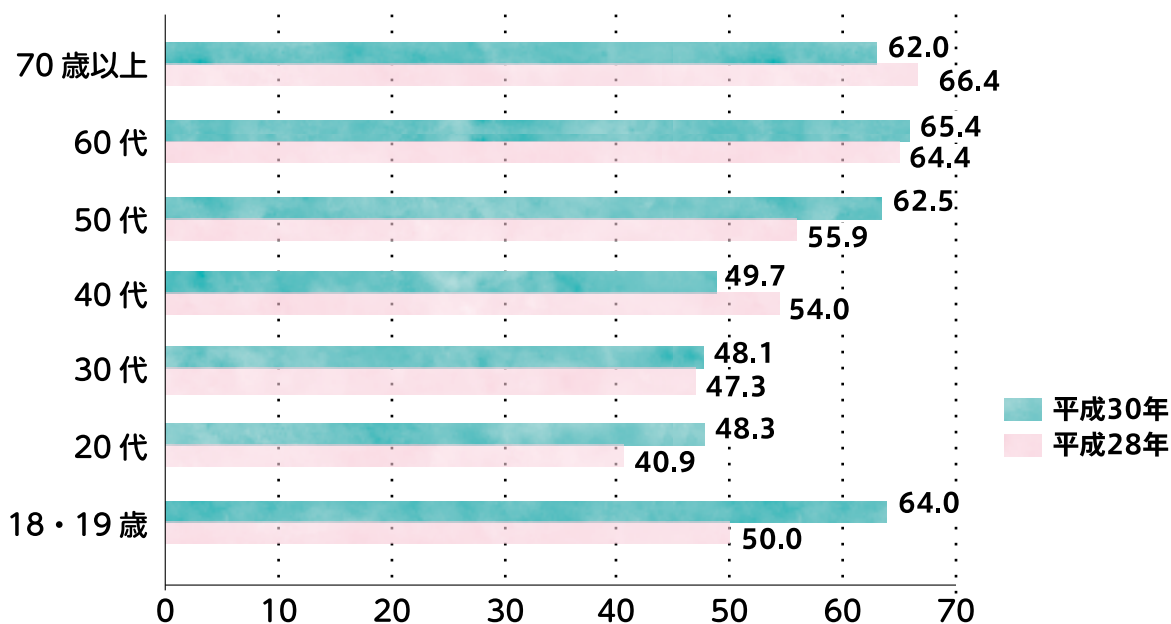
◆東京都におけるスポーツ実施率の推移と目標値

2020年の目標はスポーツ実施率70%達成であり、平成30(2018)年度調査では57.2%となっています。



出展:「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査」

年代別スポーツ実施率(平成30年度)



20代～40代のスポーツ実施率は全体平均57.2%を下回り、40%台にとどまっている。

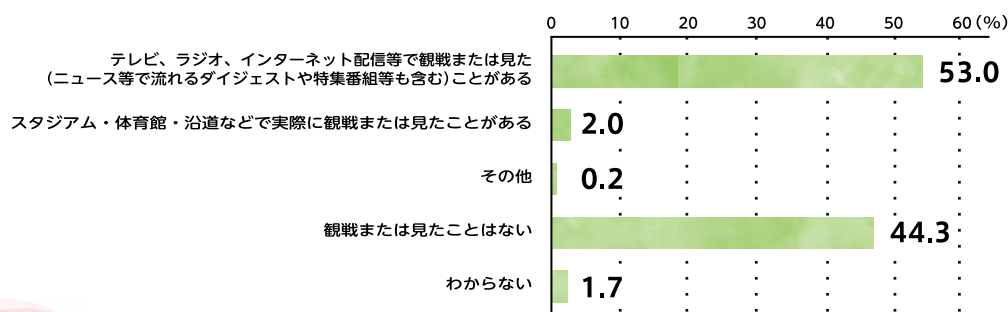
スポーツ・運動を実施した頻度が週1回に満たなかった理由(平成30年度)

20代～40代に多かった理由は、「仕事や家事・育児が忙しくて時間がないから」、「機会がないから」、「好きでないから」など

近年全体よりも低いままだった20～40歳代(働き盛り世代)のスポーツ実施率を向上させるため、1日の大半の時間を過ごす企業に対するアプローチとして、平成27年度に「東京都スポーツ推進企業認定制度」を創設し、企業の取組を広く周知することで、普及を図っている。

障害者スポーツについて

障害者スポーツの観戦(平成30年度)



「スタジアム・体育館・沿道などで実際に観戦または見たことがある」人の割合は依然として低い

企業・団体の障害者スポーツ支援を促進する取組を企画・実施すること等により、企業への障害者スポーツ観戦の流れを作っていく。

平成30年度東京都スポーツ推進企業認定制度の概要

◆事業概要

「東京都スポーツ推進企業認定制度」の目的

企業のスポーツに対する社内外への積極的な取組を認定し、広く都民に周知することで、働き盛り世代のスポーツ活動を推進するとともに、スポーツに対する社会的気運の醸成を図る。

「東京都スポーツ推進企業」とは

社員のスポーツ活動を推進する取組や、スポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業等のうち東京都が認定したもの

認定された企業には

- 認定証・認定ステッカーの交付
- 都ホームページ等において社名等の公表
- マスメディア等に積極的に取組内容の情報提供 等

「東京都スポーツ推進モデル企業」とは

認定した企業のうち、特に社会的な影響や波及効果の大きい取組をしている企業等（学識経験者を含む選定委員会を経て、東京都が決定）

選定された企業には

- 表彰
- 都ホームページや都スポーツイベントで取組内容の公表 等

◆募集対象

都内に本社、事業所を置く企業、社団法人、財団法人、NPO法人等

◆認定期間

1年間（更新可）

◆スケジュール（平成30年度）

平成30年8月1日～10月31日	東京都スポーツ推進企業募集
11月	東京都スポーツ推進企業認定
平成31年1月	東京都スポーツ推進モデル企業候補選定
2月	東京都スポーツ推進モデル企業決定
3月	東京都スポーツ推進モデル企業表彰式

◆平成30年度東京都スポーツ推進企業認定数	266社
◆平成30年度東京都スポーツ推進モデル企業数	うち11社

◆関連ホームページ

スポーツTOKYOインフォメーション「東京都スポーツ推進企業認定制度ホームページ」
<https://www.sports-tokyo.info/company/>



株式会社アロー



月に一度、約20分間、会社周辺でランニングしながらミーティングを実施

月に1回、ミーティングの日に20分程度のゆっくりランニングを会社近くで実施。ランニングは早歩き程度の速さで行い、その間はミーティングの内容や雑談など、自由な会話をし、コミュニケーションの場とする。

会社到着後、全社員の体調を確認し、ミーティングの本題を行う。

ミーティングの場ではほとんど身体を動かさず、頭も身体も固くなり、生産性のあるディスカッションが起きにくかったため、社員全員でランニングすることをトレーナーが提案。

外部スポーツイベントに社員や家族で参加

社員アンケートを参考に半年に一度、外部イベントに参加。マラソン大会への参加や、ボールダンス体験会、ZOOトレーニング体験会、味スタ6耐への参加など。当社のお客様も参加可能なものは、募集を募り、一緒に参加している。



アローいきいき健康体操

毎朝9時よりトレーナーが考案した会社オリジナルの健康体操を実施。1か月ごとにアンケートを取り社員の要望に合わせて「肩こり予防体操」「腰痛予防体操」などテーマを変えて行っている。



企業 DATA

所在地

世田谷区

業種

サービス業

総従業員数

約10名

3か月に一度、社員の姿勢チェックや 体力レベルを計測し、 パーソナルトレーニング指導を実施

社員の体力測定・姿勢チェックの結果に基づいて、当社トレーナーが社員一人ひとりに健康トレーニングメニューを提案。月に一度、マンツーマンのパーソナルトレーニングや全員で楽しみながら行うトレーニングメニュー、座学会などを実施。

一人ひとりが運動を実践することで、当社のお客様の気持ちを考えられるようになるとともに、得た知識を自分の周囲の友達や家族に伝えることが可能となる。それによって周りも健康にしておもうという考え方から実施。



社内健康イベント

社員全体で楽しみながら行える、興味を持てるイベントを社内のトレーナー企画で実施。座学では「最新サプリメントについて」「産前産後のトレーニング」、実践では「キッズトレーニング」「じゃんけんスクワット大会」などを実施してきた。



応援メッセージ階段

階段に「一段ずつ上ればカロリー消費!」、「一段飛ばせばお尻が引き締まる」などの言葉を掲示。階段使用時に毎回その言葉を読むことで、駅の階段など日常での階段使用率自体もアップしている。

東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと



STAFF'S VOICE

当社はお客様にフィットネスを提供する施設として、まずは社員が体を動かし、健康に対する取組を実践することが、お客様からの信頼や各社員の自信に繋がっています。

また、昨年から他の企業様へ出張し、当社のトレーナーが腰痛予防セミナーやフィットネスセミナーなども開催しており、当社だけに収まらず、株式会社アローに関わる全ての方を健康に!というスタイルへ進化しています。

このような取組の中で社員の健康意識の高まりだけでなく、スタッフ間のコミュニケーションの場も増加し、社員各々からの自己発案での取組も毎年増え、社員の活力向上・生産性向上にも繋がっています。

Canon

キヤノン株式会社



種目別スポーツ大会やウォーキングイベント等を開催

ICTを活用したアプリ「KenCoM」を、グループ全社で導入。このツールを活用し、年2回のチーム参加型のウォーキングイベントを実施している。アプリ内でチームメンバーとのコミュニケーションや、チームがコミュニティイベントを設定することが可能なため、コミュニケーション向上に役立っている。

1990年代より、THPに基づく体力づくり支援の一環としての種目別スポーツ大会や家族を含めたウォーキングイベントを開始。手軽にできる運動として取り組みやすいウォーキングイベントのニーズは高く、その後も継続してイベントを実施している。



キヤノン体操

1967年に制定したキヤノン体操。2015年にリニューアルし、現在も就業前やスポーツ大会開催時に実施。



企業 DATA

所在地

大田区

業種

製造業

総従業員数

約26,000名

本社内に運動施設 (フィットネスセンター、スタジオ、プール、卓球室、ゴルフ室)、 近隣エリアに体育館やテニスガーデンを完備

本社内に運動施設(フィットネスセンター、スタジオ、プール、卓球室、ゴルフ室)、近隣エリアに体育館やテニスガーデンを完備。社員は就業時間外及び土日祝日に無料(一部有料)で利用できる。

従業員の余暇充実及び健康増進を目的に、社員専用の運動施設を設けた。現在では「キャノン従業員クラブ」の部員を始め、多くの社員が利用している。



キャノン従業員クラブ活動への支援 (40クラブに対し、1クラブあたり年30万円を上限に補助)



従業員有志によるクラブ活動を実施。現在はテニス部、剣道部、バドミントン部等、16種類の体育系クラブが就業時間外に年間約10~40回活動している。

また、一定のルールを条件に、大会参加費や備品等の運営費の一部を補助している。

職場の垣根を越えたコミュニケーションの推進や健康促進を図るために、従業員クラブを設立。

パラスポーツ体験会

2018年8月3日、下丸子本社の社内納涼祭にて、パラスポーツ体験会(ボッチャ、車いすバスケットボール、ブラインドサッカー)を実施。のべ約500名が参加。



東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと



STAFF'S VOICE

キャノンでは創業期から受け継がれている「健康第一主義」の行動指針のもと、社員が安心して働ける環境を提供するとともに、社員自身も健康状態の自覚・維持・改善を目指す「キャノン式健康経営」を時代に先駆けて行ってきました。運動に関しては、「福利厚生」「健康増進」など、各組織が一体となり様々な側面からアプローチをしています。

事業所ごとに運動施設の提供や有志での運動クラブの発足、全社一斉イベントの実施、社内報やアプリなどを活用した継続的な啓発や情報提供などを行っています。今後もより一層、各組織や従業員と一体となり健康経営を推進します!



株式会社 協和



8:45 「スロトレ始めまーす」の声かけで一日がスタート

毎朝15分間、社長を含め全従業員がオフィスの限られたスペースで、スカートやスーツスタイルのままスロトレを実施。社員であり、元オリンピック選手、柳澤哲（競歩）が考案したオリジナルプログラムで、ウォーミングアップ2種＋部位別2種の4種類を日替わりで行う。2011年から始めた8年以上にわたる取組。

スロトレとはスロートレーニングの略で、ゆっくりした動作で体に負荷をかけ短時間で効果を得るトレーニング。器具を使わず安全で、いつでもどこでも実施することができる。トレーニング後は代謝がアップし、営業回りなど普段の歩きでも脂肪の燃焼が促進。また、通常の筋トレ同様、筋肉がつき基礎代謝を上げてダイエットにも効果的。



企業 DATA

所在地

新宿区

業種

製造業

総従業員数

約90名

職場に高さ調整可能な スタンディングデスクを設置

フリーアドレス化に伴い、スタンディングデスクを導入。

身体に合わせて高さを調整でき、また、スタンディングで業務をすることで身体の負担を軽減。

社内アンケートから「座り続けることが疲れる」とリクエストがあり、全体の3分の1を高さ調節可能なデスクを導入した。



全社員に歩数計を無償貸与

ウォーキングの事業を進める中で、従業員にも健康のためにウォーキングを意識し、健康に活用してもらうために無償貸与を開始。日々の活動量をチェックできるようにしている。

いつでもスニーカーデー

スポーツ庁のスニーカー通勤推奨を受け、スニーカーを履いて通勤することをいつでもOKとした。特定の日を設定するのではなく業務や装いに合わせてスニーカー通勤できる。



ウォーキング社内イベント

ウォーキングで健康作りをしながら、チーム横断の「ワイガヤ」コミュニケーションが可能な仕組みのひとつとして実施。春には桜満開の中での実施となった。



STAFF'S VOICE

エイジングケアブランド「fracora(フラコラ)」を運営する協和では、「美と健康」を提供するなら「まずは自分たち」からと考え、さまざまな取り組みをしてきました。スロトレ(筋トレ)・フェイトレ(顔の体操)、最近では、集中力を高めるマインドフルネスも毎朝実施しています。

その結果、健康指標も全国平均より改善し、社内のコミュニケーションも活発になっています。

これからも、日本一明るく活発な議論で知恵を出し合い、「お客様がいきいきとした笑顔のある毎日」となるよう商品やサービスを提供してまいります。

東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと





全日本空輸 株式会社



グループ大運動会の実施 (社員・家族約2,000人参加、全国勝ち抜き大縄跳び、リレー、綱引き等)

ANAグループ全体の運動会を開催。グループ横断的に実施することで、職場の一体感を醸成するとともに、体を動かすことの重要性への意識を高めている。

健康経営ブースではANAグループ Exerciseの紹介、体組成、肺年齢測定結果から保健師のアドバイスを行うなど健康増進についての理解促進にも努めている。

グループ社員が一つの場集まって、取り組むことによって、グループ一体感を醸成を図りたいという考えのもと取り組みを開始した。



健康経営ブースで肺年齢を測定する平子社長



企業 DATA

所在地

港区

業種

運輸業

総従業員数

約14,400名

アスリート社員が企画する社内スポーツ教室やブラインドサッカー体験

ANAグループ労使一体となり障害者スポーツを体験。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会理解を高めている。



オリジナル動画を活用したエクササイズの実施

当社の業務特徴や各人の健康課題に対応したストレッチ、自宅や出張先でできるストレッチと体力強化方法を独自に制作し、動画配信による運動の習慣化を実践している。

- 現業部門:業務開始時・夕礼時・終業時に実施
- スタッフ部門:各部署毎に実施、毎日・週1回
- その他:集合型研修、長時間となる会議の休憩時



スタンディングミーティングの実施

デスクワーク部署における短時間の会議についてはスタンディングミーティングを実施している。

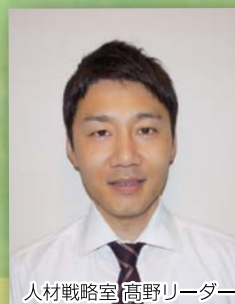
体幹を鍛えるためのグッズも活用している。各事業所への展開を検討している。



東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと

STAFF'S VOICE

ANAにおいては、ANAグループ健康経営宣言に基づき様々な取り組みを行ってきております。その中でも生活習慣病予防を目的とした運動の習慣化は重要な課題と捉え、各種施策を展開してきております。また、在籍する7名の社員アスリートを交え、社員や家族を対象としたスポーツ教室や交流会を開催することで、スポーツの楽しさを社員間で共有し、明るく元気な職場風土の醸成に取り組んできております。今回のモデル企業への選定は、こうした各種取り組みのさらなる後押しとなり、社員の健康増進に関わる意識改革にも繋がるものと考えております。



人材戦略室 高野リーダー

三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

三井住友海上火災保険 株式会社

三井住友海上 × スポーツ

スポーツ界の第一線で活躍する選手を育て、日本の各競技界の強化・繁栄に役立ちたい、世界に貢献したい、との気持ちで、スポーツの振興に取り組んでいます。



30年間続くスポーツ振興活動

当社は、女子柔道部(1989年創部)・女子陸上競技部・トライアスロン部の運営、パラアスリート支援を行っている。

全アスリートが社員として職場で勤務しながら競技に取り組む、社会人としての責任・姿勢を養い、アスリートである前に社会人として一流を目指している。世界に挑戦するアスリートが身近にすることで、一緒に働く社員は刺激を受け、職場も活気に溢れている。アスリートにとっても身近に応援する人が支えとなり相乗効果を生んでいる。

職場風景



社員・代理店一体となった応援

出場大会には職場・開催地の社員、後援会員(社員・代理店等)が全国各地から応援に駆けつける。スポーツの応援等を通じて得られる一体感や感動の共有は、他では得難いものがあり、心の財産となっている。

駅伝の応援



地域・海外との交流

当社アスリートによる柔道教室・ランニング教室を長年開催しており、社員・代理店も交えて地域との交流を図っている。



柔道教室



ランニング教室

その他にも、海外チームの受け入れによる国際交流や、支えてくださる皆様への感謝をこめて、講演活動やイベントへのアスリート派遣など社会貢献活動に取り組んでいる。



フランス・イギリスチームの受け入れ



企業 DATA

所在地
千代田区

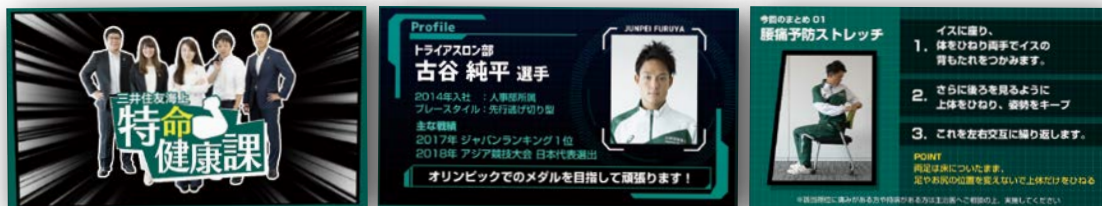
業種
保険業

総従業員数
約14,500名

自社トップアスリートによる社員向け“運動推進ムービー”

当社は、社員個人のモバイル端末(スマホ等)向けに業務等に役立つ情報を配信している。

当社のトップアスリートが、オフィス等で簡単にできる運動やストレッチを紹介するシリーズ形式のムービーにより、社員が明るく楽しんで取り組める“健康づくり”を推進している。



ヘルスケアアプリ「ココカラダイアリー」

当社は、自社で開発したヘルスケアアプリ「ココカラダイアリー」を全社員に提供している。アプリの歩数データ記録機能を活用した「ウォーキングキャンペーン」の開催や、環境ISO活動と連動した「階段利用(上2階・下3階)」の推奨により、社員の日常的な運動を推進している。



「ウォーキングキャンペーン」の開催

期間:2018年10月(31日間) ※協賛:健康保険組合
目標:24万8,000歩 “1日 8,000歩”
達成賞 :ヘルスメーター・血圧計など健康グッズ(抽選)



「BEYOND FES 丸の内」 パラアスリートトークショー&ブラインドマラソン体験

2018年10月に開催された「BEYOND FES 丸の内」(東京都主催)で、「パラアスリートの魅力を伝えるステージイベント」に増田明美氏をお迎えし、当社所属の道下美里選手(陸上)と「支えてくれるメンバーとの絆」をテーマにトークショーを行った。

また「パラスポーツ体験会」に出展し、ブラインドマラソンの醍醐味と難しさ、そして信頼できる伴走者の大切さを多くの皆様に体験いただいた。

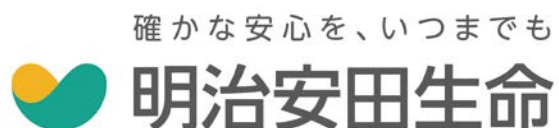


東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと



STAFF'S VOICE

スポーツは健康で健全な社会づくりに繋がるものであり、「挑戦、スポーツマンシップ、諦めない姿勢、感動の共有・共感」といったスポーツが持つ意味は、当社の経営理念である「グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支える」と通じるものがあります。これからも、積極的にスポーツ振興に取り組み、活力ある企業文化を社内外に発信していきたいと思っています。



**明治安田生命保険
相互会社**



「みんなの健活プロジェクト」 健康を、いっしょに育てよう。

お客さま・地域社会と一緒に、従業員も「健活」に「みんな」で取り組み、「人に一番やさしい生命保険会社」の実現をめざしている。

従業員向けの取組として、「健康チャレンジキャンペーン」を2011年度から実施。全従業員を対象とし、ウォーキング(目標:4ヵ月で100万歩)に加え、スポーツ活動や食事改善を目標に個人・所属単位で取り組む。2018年度は約38,000名が参加。達成歩数の超過に応じて、被災地復興支援団体への寄付を実施。

その他のウォーキングイベントとして、全国75ヵ所約41,000名の従業員とその家族が参加する「あしながチャリティ&ウオーク」や、タイトルパートナー契約を結んでいるJリーグやJクラブの選手とともに健康づくりを応援する「Jリーグウォーキング」を実施。



「運動教室」の実施

「健康チャレンジキャンペーン」の一環として、出張健康セミナー「運動教室」を実施。社外講師やインストラクターを招聘し、所属単位で参加する。2018年度は全国44ヵ所で実施。



企業 DATA

所在地
千代田区

業種
保険業

総従業員数
約44,700名

オリジナル元気体操を実施!

2017年4月より従来の体操を一新し、リニューアル。始業10分前にオリジナルBGMを流し、従業員揃って体操を実施する。

毎朝の体操で、心と身体の健康増進をめざしている。



社内運動部主催のイベントを開催!

ボート部主催による所属対抗のレガッタ大会には、約1,700名が参加し、347クルー(漕手4名、舵手1名で1クルー)が出場。

社内テニス部主催によるテニスクリニックは、従業員とその家族の健康増進・コミュニケーション活性化を目的として開催。テニス部員による無料のレッスンを受けることができる。

小学生サッカー教室を開催!

地域社会の活性化や子どもたちの健全育成に貢献することを目的に、2015年からJリーグ地元チームと全国の支社との協同で開催。2018年度は137回実施し、11,049名が参加した(12月末時点)。



東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと

STAFF'S VOICE

当社は、2019年4月から「お客さま」「地域社会」「働く仲間(自社従業員)」の健康増進の取組を継続的に支援する「みんなの健活プロジェクト」を本格展開します。今回の認定を受け、プロジェクトの大前提となる従業員の健康増進をさらに推進し、ウォーキングを中心としたスポーツ活動を通じて、従業員の健康増進をよりいっそう推進してまいります。チーム明治安田として、全員が一丸となって「みんなの健活プロジェクト」に取り組んでいきます!



広報部 林さん 人事部 笹松さん

MS&AD あいおいニッセイ同和損害保険

あいおいニッセイ
同和損害保険株式会社



国分寺市主催グローバルフェスタ・パラスポーツ体験会

雇用アスリートの派遣等、自治体と連携し講演会・パラスポーツ体験会等を実施 (30年度:都内10回程度)

全国の自治体と「スポーツ振興」、とりわけ「パラスポーツ支援」を重点項目として連携協定をすすめている。

パラスポーツ支援を通じて共生社会・ダイバーシティを地域の皆さんに理解いただく活動を自治体と一緒にしている。具体的には、当社の所属アスリートを派遣し、パラスポーツを知ること、アスリートがいかに障害に向き合ってきたか、などを知る機会を提供している。

【全国での取組み状況】

開催数:80回超(2018年4月~2019年3月末予定)

主催:自治体、もしくは小学校

参加数:延べ25,000名超

「障がい者スポーツと共生社会」をテーマとする講座を大学に提供【全15回／2単位】 (雇用パラアスリートもゲストスピーカーとして登壇)

2018年前期より、上智大学でオリンピック・パラリンピック領域の連携講座を設置しました。

上智大学には当社経営企画部倉田秀道(早稲田大学スキー部前監督、早稲田大学講師)がコーディネータ(教員)として迎えられ、障害者スポーツの現状と課題を学ぶことにより、共生社会の構築に向けて何が必要かを考えることを狙いとした臨場感溢れる講義を実施した。

【2018年度 講座概要】

科目名 :「パラリンピアンと考える障がい者スポーツと共生社会」
(オリンピック・パラリンピック関連科目)

担当教員:上智大学保健体育研究室師岡教授
当社経営企画部 倉田秀道

開催時期:前期(全15回／2単位)

設置学部:全学部共通



上智大学での講義風景

企業 DATA

所在地

渋谷区

業種

保険業

総従業員数

約16,100名

18名の雇用アスリートを紹介する「アスリートガイドブック」の作成(約20,000部)

当社所属のアスリートの紹介、当社のスポーツ振興活動等を掲載した「アスリートガイドブック」を作成した。
全国の自治体、地域マスコミ、地域のステークホルダー等に配布し、当社のスポーツ振興活動を理解いただき、とりわけパラスポーツ支援の輪を広げる活動につなげることを狙いとしている。

【アスリートガイドブックの概要】

構成： ①アスリート紹介
②当社のスポーツ振興活動の紹介
③職場からアスリートへのメッセージ

制作部数:20,000部
発行年月:2018年10月



アスリート雇用が進展 (全18選手、うちパラ選手14名 2019年2月末現在)

18名のアスリートを雇用し、それぞれが競技活動と業務を両立して活躍している。

当社では、選手の生活基盤を優先して配属しているため、北は札幌から南は宮崎まで全国の職場に在籍している。当社は特例子会社を有していないため、全選手が一般社員と机を並べ一緒に業務を行っている。このことは、当社が掲げる地域密着・共生社会の実現につながり、業務を通じて、インクルーシブなコミュニティを創造している。

また、競技活動支援が奏功して、各選手の競技力も向上している。

【2018年所属選手(日本代表)の主な実績】

アジア大会(※1) : 1選手 メダル金2、銀1
アジアパラ大会(※2) : 4選手 メダル銀3、銅4、入賞1
世界選手権(※3) : 3選手 入賞5
パンパシ水泳(※4) : 1選手 メダル銀1、銅1
パンパシパラ水泳(※5) : 3選手 メダル金6、銀2、銅2、入賞1

(※1) 第18回アジア競技大会、(※2) インドネシア2018アジアパラ競技大会

(※3) 2018年バスケットボール世界選手権等、(※4) パンパシフィック水泳選手権大会2018

(※5) 2018年パンパシフィックパラ水泳選手権大会



ボランティアセミナーを全国で開催

2018年度、6か月間に渡り、ボランティアセミナーを全国で開催し、「都市ボランティア」、「大会ボランティア」及び「地域貢献活動」等への意識喚起につなげた。

受講者からは、「地域でのボランティア活動への参画のきっかけがつかめた」、「背中を押してもらえた」等の声が多く寄せられた。

【ボランティアセミナーの概要】

期間 : 2018年7月~12月

開催地: 全国9ヶ所、インターネットTVによる講習

協力 : 日本財団パラリンピックサポートセンター
日本財団ボランティアサポートセンター



東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと

STAFF'S VOICE

制度創設以来、4年連続で「モデル企業」に認定いただき、至極光栄でございます。2014年にスポーツチームが組成され、従来企業スポーツの文化のない当社にあって、全社員の理解と熱い気持ち、そして所属アスリートの活躍を通じて一つひとつの取組をコツコツと積み上げてきました。

モデル企業の認定により、社員の採用・育成、意識醸成等へも効果が出始めてきています。

また、当社のスポーツ振興、とりわけパラスポーツ支援に対する理解が浸透し、その輪が全国のお客さまや代理店の皆さまを通じて各地域で広がっております。2020年で終わることなく、粛々と活動を継続していく所存です。



経営企画部 倉田次長

経営企画部 水野さん

人生は、夢だらけ。



かんぽ生命

平成30年度東京都スポーツ推進モデル企業

株式会社
かんぽ生命保険



一般社団法人日本車いすテニス協会 (JWTA) や 協会主催のイベントへの協賛・支援

車いすテニス未経験者・経験が浅い方に車いすテニスに触れる機会を増やすことや、若手選手の育成を支援することにより、車いすテニスの発展・普及に寄与したいという思いから、車いすテニスの全国各地で開催される体験会や、JWTA所属の若手選手を対象とした強化合宿、国内で開催される大会等に協賛している。

また、上記の体験会では、当社企業キャラクター「かんぽくん」によるイベントの応援やラジオ体操の実施等により、イベントを盛り上げている。

当社は、障害の有無にとらわれず、生き生きと活躍できる社会の実現を目指しており、「人生は、夢だらけ。」の企業スローガンのもと、夢に向かって挑戦する全ての人を応援する一環として車いすテニスを支援している。

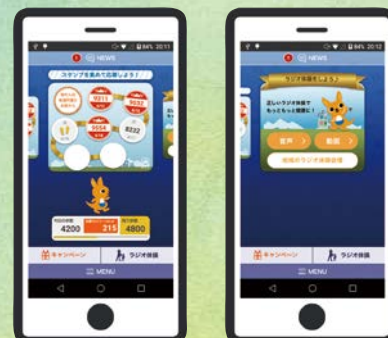


健康応援アプリの提供

人生100年時代と言われるような長寿社会となり、生命保険会社の役割も、お客さまの健康寿命の延伸や生活の質 (Quality of Life) を向上させること、そのために、お客さまが重篤な状態になることを予防する又は発症を遅らせるための「健康増進サービス」を提供することへと変化している。

当社はお客さまの健康づくりを日常的、継続的に支援するため、2019年1月から健康応援アプリ「すこやかんぽ」を提供している。

また、当社社員の健康づくりを目的として実施したキャンペーンにおいて、社員自身が「すこやかんぽ」を使ったウォーキングや生活習慣の改善に取り組むなど、社員の健康増進にも活用している。



企業 DATA

所在地
千代田区

業種
保険業

総従業員数
約7,400名

ラジオ体操の普及啓発に関わる多様な取組を実施 (小学生向けコンクール、小学校出張授業等)

若年層のラジオ体操の認知度低下を受け、今年で90周年を迎える歴史あるラジオ体操を後世に受け継ぐべく、全国の小学生を対象に毎年開催している。

「日ごろのラジオ体操への取り組み」と「ラジオ体操第一の体操風景」を収録した動画をご応募いただき、全体を通して元気に楽しんでラジオ体操を行っているか、また、そろった動きで正しくラジオ体操ができているかという視点で審査し、入賞チームを決定・発表している。

上記コンクールに応募いただいた小学校から15校程度を選定し、NHKテレビ・ラジオ体操講師およびアシスタントによる、「ラジオ体操の小学校出張授業」を実施している。

出張授業実施後は、当社で制作した解説小冊子等を提供し、正しいラジオ体操を継続して実施できるよう支援している。



社員の「ラジオ体操公認指導者資格」の取得支援 (経費全額補助)

NPO法人全国ラジオ体操連盟公認指導者資格の取得にかかる費用を全額補助し、ラジオ体操に真剣に取り組む社員を支援する態勢を整備している。

資格取得者数(2017年度末現在)

- 1級指導士(原則として全国地域を対象に普及推進活動ができる者)…11名
- 2級指導士(原則として都道府県内を対象に普及推進活動ができる者)…118名
- 指導員(原則として居住している近隣地域を対象に普及推進活動ができる者)…1126名



東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと

STAFF'S VOICE

かんぽ生命は、「健康促進、環境保護、地域と社会の発展に積極的に貢献します」という経営方針のもと、様々な社会貢献活動を行っています。

特に、当社の前身である通信省簡易保険局が90年前に制定したラジオ体操の普及推進を通じて、皆さまの健康づくりを支援してきました。

「いつでも、どこでも、だれでも」気軽に取り組めるラジオ体操は、社会的課題である健康寿命の延伸にも大きく寄与すると考えています。

お客さまの健康増進をサポートする企業として、今後も健康づくりへの貢献に積極的に取り組んでまいります!



夢をかなえるパートナー

城北信用金庫

城北信用金庫



6名の雇用アスリートによる地域のスポーツ教室や講演会の開催

平成30年7月現在、トップアスリート6名(アスナビ採用)を採用している。アスリート職員は、まず競技者として立派な成績をあげられるよう日々の練習に励んでいるが、一方で可能な限り地域の方たちと交流を持ち、地域との「つながり」づくりにも貢献している。

また、アスリートと地域の皆さまとの交流の場を通じて、地域のスポーツ振興に取り組んでいる。

小中学生を対象とするスポーツ教室では、子供たちにトップアスリートの技を間近に見ていただくなど、スポーツの魅力をアスリート本人が身を持って伝えている。

さらに、地元経営者向けの講演会では、スポーツにより育まれる精神力や思考法をお話するほか、当金庫のアスリート支援の取り組みも紹介し、支援の輪を広げている。



企業 DATA

所在地

荒川区

業種

金融業

総従業員数

約2,400名

専用サイトにおける雇用アスリートのプロモーション

当金庫では、在籍する6名のアスリート職員が、競技の違いを超え「Johoku Athletes Club」としてひとつのチームを作っている。「Johoku Athletes Club」のプロモーションとして、当金庫公式サイト内に専用ページを設け、競技日程や成績などを紹介しているほか、別途アスリートのプロモーションサイト「Athletes Zero(アスリート・ゼロ)」を立ち上げ、世界に挑む彼女たちのひたむきな姿を、広く地域の皆さまにお伝えしている。将来的には、当金庫所属アスリートに限らず女性アスリート全般に対象を拡げ、国境を越えて輝きを放つ彼女たちの魅力を発信したいと考えている。



地元企業とアスリートとの採用マッチング支援

地域企業の皆さまに、アスリート雇用に対する理解を深めていただくための取り組みとして、JOCが主催する「アスナビ」説明会の開催支援(講師派遣、地元企業へのご案内)や、「アスナビ」でアスリートを採用された企業さまへの個別アドバイスなどを行っている。



現役を引退した雇用アスリートによる現役選手のマネジメント支援

トップアスリートとして輝くことはもちろん大切だが、現役引退後の長い人生を社会人としてのやりがいを感じながら過ごしていくことも、若いアスリートたちにとっては大変重要なことである。

当金庫では、現役引退後も見据え、高い人間性や広い視野をもった社会人に成長してほしいとの思いから、アスリート職員を対象とする研修も実施している。現在、現役を引退した選手1名が、今度は仲間を支える側に立ち、アスリートマネージャーとして活躍している。

地域スポーツイベントへの支援

「東京・赤羽ハーフマラソン」に特別協賛し、入賞者への副賞(お取引先にご協力いただき職員が手作りで詰め合わせたもの)や選手のゼッケン、スタートゴールの支柱などを提供するほか、レースのスターター、表彰式のプレゼンターも役職員が務めている。

また、毎年50名前後がランナーとして参加し、沿道では多くの役職員が応援に参加している。



東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと



STAFF'S VOICE

スポーツは、楽しく身近な存在であると同時に、世界共通の文化であり、人の成長に欠かせない多くの学びに触れる機会でもあります。技能を高めるためのコミュニケーション能力、様々な価値観を互いに認め合い共有する姿勢、自身の目標を定め高みを追求しようとする強固な意志…スポーツが育む力は、元気な地域社会を作る上でも極めて重要な要素です。

当金庫ではアスリート職員を中心としたスポーツ教室や講演会などの開催、地域スポーツイベントの支援を通じて、スポーツの万能性への理解を広め、より豊かな地域づくりに貢献してまいります。



JAPAN AIRLINES

日本航空株式会社



JAL NEXT ATHLETE PROJECT

「JALネクストアスリートプロジェクト」として、子供達の「スポーツ能力測定会」、東京2020パラリンピックを目指す「パラリンピックアスリート発掘プロジェクト」を実施

当社が2020年までの活動の主軸の1つとして掲げている、「スポーツへの支援を通した次世代育成」というテーマに沿って、子供たちが自分たちの可能性に気づき、挑戦する夢を抱いて欲しい、との思いから、2020年までの間に全国47都道府県で「スポーツ能力測定会」開催予定。6種目の測定を行い、69種目のスポーツ種別の中から、それぞれの子どもの特性にあったスポーツを10種抽出し、アドバイス。加えて、向いていると判定されたスポーツの紹介や、近くで習える場所などの情報も提供している。

2020年までに全47都道府県で実施し、12,000名を超える子供たちが参加予定。(2019年2月現在、24回実施。7,264名参加。)

また、「パラリンピックアスリート発掘プロジェクト」では各競技団体と連携しながら、東京2020パラリンピック競技大会に出場できるアスリート発掘を実施。

本人または周囲の方からメールを頂き、障がいの種類や希望される運動種目等のやり取りを始め、可能性のある方は、スポーツ能力測定会で使用している機材を持って自宅等に訪問して測定する。



顧客から寄付されたマイル数と同数を上乗せし競技団体へ寄付（1マイル1円）



スポーツのさらなる振興、及び将来のスポーツ界を担う若手アスリートのチャレンジをサポートすることを目的として、JALマイレージバンク(JMB)会員の皆さまから寄付いただいたマイルと、集まったマイル相当額と同額をJALからも拠出し、総額で対象競技団体を支援している。

将来有望であるにもかかわらず、金銭的な事情で海外遠征やスポーツ活動そのものを断念することもあり、若手アスリートの練習環境は十分とは言えない。そのような若手アスリートがチャレンジできる環境づくり並びに、世界中に勇気を与え、夢や希望を届けることができるスポーツのさらなる振興に貢献できれば、との思いから実施している。

URL:<https://www.flyforit.jp/forsports/>

企業 DATA

所在地
品川区

業種
運輸業

総従業員数
約12,400名

あすチャレ！ School

JALが協賛している公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンター（以下「パラサポ」という。）のパラ体験授業を提供するプロジェクト。

「あすチャレ！School」はパラサポが平成28年4月に開始した小中高等学校向けの体験型授業で、パラアスリートと一緒にスポーツ体験をしたり、パラアスリートの生の声を参加者が聞くことで、夢や目標を持つことの価値や、社会にある障がいや多様性を認め合うことの大切さなどを学ぶ場となっている。

パラサポの実施するこの活動に対し、さらに多くの子供たちに「あすチャレ！School」の授業を届けたいとJALから提案し、パラサポが賛同したことから、平成29年4月からの提携が実現した。

講師やスタッフの航空機での移動や器具輸送を手配するなど、各種輸送に関して全面的にサポートしている。



各種スポーツへの支援

挑戦するアスリートやそれをサポートする人たちのさまざまな想いを受けて、皆さまの移動、競技用具の輸送をはじめ、大会への支援・協賛などさまざまな形でスポーツを支援している。

最近の主な支援実績

- スポーツクライミング
東京2020大会の新種目として普及発展。国内連盟(NF)のみならず国際連盟(IF)と日本企業として初のスポンサー契約を締結。
- 体操日本代表
トップスポンサー契約を締結。

アスリート社員の採用(平成30年度 陸上競技選手2名)

オリンピックへの参加等、高いレベルで活躍の見込まれるアスリートが社員として入社した。選手の競技現役期間のみならず、引退後も正社員として迎えることを前提としており、将来の不安を払拭した形で、競技に集中できる環境を整えている。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた各種の取組を行う中で、さらにその気運を盛り上げたいの思いや、スポーツ振興を通じて社会貢献を行いたいとの思いからアスリート社員を採用した。セイコーゴールデングランプリ陸上など両名の応援を積極的に実施。三段跳びの山本凌雅は第66回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会、第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」で優勝した。

東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと



STAFF'S VOICE

昨年度は実践部門のモデル企業に選定いただき、スポーツの実践を通じて健康経営を推進し、お客さまに最高のサービスを提供するという当社の理念を多くの方々にご理解いただくことができました。

特に社員にとっても客観的に会社の想いを知ること、エンゲージメントを高めることに繋がりました。

今年度は支援部門でも選定いただき、社会の進歩・発展に貢献していることを改めて社員が認識できる良い機会と感謝しております。

来る2020年に向けて、当社は「Fly for it!」のスローガンをもとに、これからも様々な活動を展開してまいります。



神楽坂サイクリングチーム

サイクルクラブの運営

「1人でもいいけど、みんなでサイクリングすることで仲間も見つけて東京を走ろう!」をコンセプトに、都内サイクリングチームの活動を当社職員が企画・運営・調整している。

サイクリングコースを、景色や食事処等も考慮の上設定し、月1回程度、都内をサイクリングしている。

また、一般の方々を対象に、包括管理している各競輪場のバンク(走路)を月2回程度、特別開放するサイクルクラブも実施している。当社所属の中村妃智(きさと)選手や各競輪場所所属の競輪選手が、直接自転車の乗り方や自転車の整備等のコーチングを行うほか、一緒にバンク走行することで、競技としての自転車を体験してもらうとともに、自転車を楽しんでもらっている。

当社が運営している競輪場は、広島けいりん・京都向日町けいりん・松阪けいりん・千葉けいりん(工事のため外部で実施中)であり、各競輪場の代表が集結し競うレースも実施している。

地域のサイクリングイベントの実施 (補助輪外し走行会)

補助輪を外す前のお子さんを対象に、マンツーマンで教えています。当日乗れなくてもコツをつかんで帰ってすぐに乗れるようになった!と嬉しい声が届いている。

自転車の補助輪を外すことは、自転車に乗るお子さんにとって重要なイベントである。しかし、近年、子どもたちが安全に自転車の練習を行える場所がない、教え方が分からない、という声が多くあり、その声に応えるべく安全で広い競輪場で選手と社員が協力して行っている。



企業 DATA

所在地

千代田区

業種

サービス業

総従業員数

約800名

自転車競技のアスリートを雇用（2名）

当社では、選手枠従業員としてトラック自転車競技・中距離の中村妃智（きさと）選手とパラトライアスロンの梶鉄輝（てつき）選手を雇用している。

また、自転車競技を行っている社員や業務を通して競技に興味を持った社員に対して、会社から自転車購入資金の支給等のバックアップを行い、その結果、社員の中でも、ワールドカップや、アジア大会等の様々な大会に出場している。

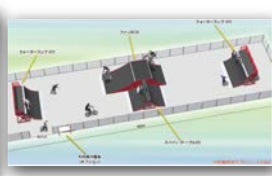
社内にオリンピック・パラリンピック等世界に挑むトップアスリートがいることで、自然と競技に向けた関心や期待度も高まり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や、その成功に向けて、社員の期待も高まり、業務へのモチベーションも向上している。



BMX 競技の普及

オリンピック種目にBMX競技のフリースタイルが追加されたことから、BMXのマスターズ選手でもありながら子どもたちや大人に教えている方を2名を雇用した。

当社が携わる競輪場に起伏の激しい自転車コース“パンブトラック”を常時設置した。自転車も同時に購入し、レンタルも行っており、オリンピックを目指す若者から初めての方でも気軽に触れ合えるサイクルパーク化を目指している。



トラックフェスティバル'18 （バンクリーグの前身）の実施

当社の自転車をメジャースポーツにしたいという思いと、ロードチームは競技を広めるとともに収益化も見込みたいという思いの思いが重なり、競輪場を活用したトラックフェスティバルを開催したところ、初回にもかかわらず、1,000名を超す観客で大盛況であった。

2019年には、バンクリーグとしてロードチームを盛り上げるレースを展開していく。



自転車競技のオリンピック・パラリンピアンに 練習場所や機材の提供

リオパラリンピック競技大会に出場し、女子タンデム個人ロードタイムトライアルで見事銀メダルを獲得してきた、鹿沼由理恵選手（楽天ソシオビジネス）、田中まい選手（千葉所属・競輪選手）の機材・練習場所の提供をしている。

当社所属の選手も東京2020オリンピック・パラリンピック競技会を目指す選手である。弊社では出来るだけのバックアップ・応援をしていき、メダルの報告ができるようにサポートしていく。



東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと

STAFF'S VOICE

昭和25年にスリットカメラを開発して以来、競輪やボートレースなどの公営競技におけるフィニッシュの瞬間を正確にとらえる技術を磨き続けてきました。

現在は、全国6ヶ所の競輪場・オートレース場の包括受託をしており、競輪開催だけではなく、競輪場を市民に開放して地域貢献をスポーツ振興につなげる活動もしています。

また、当社には、自転車競技オリンピック・パラリンピック候補選手も所属しています。「自転車競技を日本のメジャースポーツに」をモットーに、各地で様々なサイクルイベントを開催し、サイクルスポーツの魅力を発信しています。

平成30年度東京都スポーツ推進企業一覧(50音順)



株式会社アーシャルデザイン



ビジネスの世界でも活躍している元アスリート(ビジネスアスリート)取材したメディア(「ATHLETE LIVE」(アスリートライブ))を運営

引退したアスリート、トップレベルで活躍した元体育会で、現在ビジネス分野にて活躍している方を掲載。スポーツで培った経験は、財産。必ずビジネス分野でも活かせる事を伝えている。

また、パデル、フットサル等の実施や野球、ラグビー等の観戦など社内スポーツ活動を推進している。



株式会社アール・シーティー・ジャパン



社内のジムでのトレーニング実施、アスリートへの支援や子供へのスポーツ体験イベントの提供

社員が勤務時間内にも自由に利用できる社内にスポーツジム完備しており、社員はアスリートチームのスポーツドクターによる運動指導と資格を持つパーソナルトレーナーの指導も受けることが可能である。また、社長がスタッフに対し、キックボクシングやコアトレーニングをレクチャーする時間もあり3年間継続している。契約を結ぶ現役アスリートへも同様のサポートを行っている。子供向けの雪の運動会やパルクール体験会などのイベントを開催している。



株式会社 IHI エスキューブ



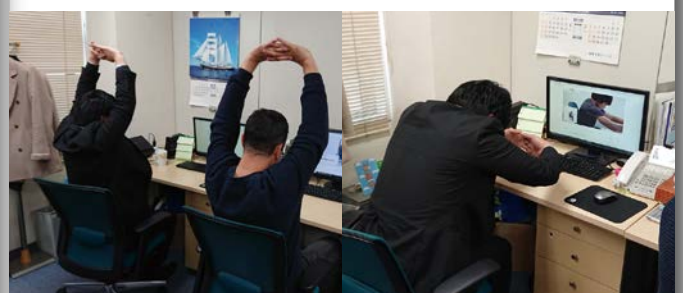
からだを動かすことと職場コミュニケーションの連動による健康づくり

活動量計を配布し、職場対抗ウォーキングイベントを実施している。ワークサイズ(歩幅チェック、ストレッチポイント、立ち会議テーブル)の設置、仕事の合間にてできるエクササイズセミナーの開催、全社レクリエーションでは従業員家族も参加し各種スポーツを体験・実践している。

車椅子バスケット選手(従業員)の応援活動も行っている。



アイ・タップ株式会社



自社健康経営支援サービス Aiglea.move を活用したエクササイズの実施

社員の健康維持・増進につなげるためAiglea.moveを通じ、健康経営を推進している。デスクワークで凝り固まった、首・肩・腰などをほぐすため、ヨガやストレッチを取り入れたエクササイズを毎日決まった時刻に実施し、社員の健康維持に努めている。また、活動を通じて社員同士が部署の垣根なく交流することで、コミュニケーションの活性化を図っている。



街の鼓動に敏感です

朝日信用金庫

朝日信用金庫



職員スポーツ活動に対する支援

毎日、朝礼時に、ストレッチ体操「信ちゃんストレッチ」を実施している。また、クラブ活動の試合に際して、交通費・親睦会費用の補助、職員の応援団を組織するなど、職員のスポーツクラブ活動を積極的に支援・推奨している。



株式会社アシックス



社員の健康推進を目的とした 社内のスポーツ環境整備とオフィス設備の導入

社員専用のトレーニング施設やスポーツ用具・備品を設置し、社員が就業前後や休憩時間等に手軽にスポーツ活動に取り組むことができる環境を整備している。また、業務を行いながら、筋トレ効果、姿勢の改善、腰痛解消等の効果を狙うバランスボールや骨盤矯正シート等の設備をミーティングスペースに導入している。



株式会社アスポ



階段利用の促進、自転車通勤の推奨及び アスリートの雇用

日々の生活、就業環境の中から健康行動（活動量の増加）を推奨し、移動時の階段利用の促進等を行っている。また、より面白いアイデアを生みだし、効率的に業務を行うことを目的に、フリーアドレス化や、スタンディングデスクの導入、ミーティングスペースや椅子の変更等を行っている。さらに、現役アスリートを会社として支援している。



株式会社アスリートプランニング



スポーツ大会の観戦

六大学野球、アメフト、ラグビー、アイスホッケー、サッカー、相撲等の各種大学スポーツの大会観戦を積極的に実施している。今年度は、六大学野球、アメフト、ラグビー、サッカー等12種目の応援ツアーを実施した。また、社内でも従来からあった陸上部に加え、新たにフットサル部が立ち上がった。



THE ADECCO GROUP

アデコ株式会社



社員によるスポーツ活動を通して、 世界中の若者を支援

世界中の若者の「生活環境の質の向上」と「教育」の支援を目的に、スポーツを通じた社会貢献プログラム「Win4Youth」を、2011年から行っている。世界60の国と地域のアデコグループの社員が一丸となって、派遣社員や顧客企業・パートナー企業と共に、ランニング・ウォーキング・サイクリング・水泳などに定期的に取り組んでいる。これらの活動実績に応じて算出した寄付金を、若年層支援団体に毎年贈呈している。



株式会社アドックインターナショナル



元気な会社作りは、皆の健康づくりから！

野球、ゴルフ、バスケット、サッカー、登山、ノルディックウォーク、トレイルランニングなど、社内部活動に積極的に取り組んでいる。

ラジオ体操の取組は、社員からの要望から始まっており、ラジオ体操第一第二体操で免疫力アップし、寒い冬も元気に仕事に取り組んでこられている。



アビームコンサルティング株式会社



障害者アスリートの雇用や大学スポーツへの 協賛・イベント運営支援を開始

社員の企業対抗リレー参加支援や、Runステーションの法人契約、レベル別ランニングレッスン、ウォーキングイベント、定期的な体組成測定会など、社員の運動促進のための年間計画に沿った多数イベント開催に加え、今年度は新たに、セカンドキャリア形成までを視野に入れたサポートを目的とした障害者アスリートを雇用したほか、複数の大学スポーツ支援を通じて、スポーツ産業の活性化に貢献している。



アフラック生命保険株式会社



社員への活動量計端末の配布

希望者へリストバンド型の活動量計端末を配布し、歩数データ等を専用アプリに連動させ健康状態を「見える化」することで、健康意識/運動習慣の向上を図っている。この端末を使用し、歩数や順位をPC・携帯で確認できる全社員対象のウォーキングキャンペーンを年2回実施している。

また、各職場の自主的なチームで、「健康」に関する4テーマ（運動/食事/禁煙/睡眠）のいずれかに取り組む「アフラック健康大賞」を実施。全社員投票による「健康大賞」を選出し、取組内容を全社に共有している。



アポロメディカルホールディングス株式会社



スポーツイベント参加支援・社内スポーツ交流会 支援及びスポーツ関連チャリティ活動

福島県を中心とする当社出店エリアにおいて、地域のマラソン大会に団体で参加し、ホノルルマラソンにも参加した（10名程度）。

また、活動費の補助を行い、社内スポーツ活動を支援している。

さらに、スポーツ関連チャリティー活動の一環として、千葉ロッテマリーンズ主催イベントにて、ピンクリボン啓発活動を実施し、スポーツを通じて、社会貢献にも取り組んでいる。



株式会社アミックグループ



スポーツ大会・イベントへの協賛や参加

人一倍過酷な環境下にあるアスリートの為に開発したスポーツ化粧品 AthleteXを活用し、多くの方たちがスポーツを楽しめるようスポーツ大会やイベントへの支援・協賛を行った。

地元、東京都国立市で開催される大会を中心に、リレーマラソン大会、LINK国立をはじめとする、スポーツ大会・イベントへの協賛や参加している。



株式会社アメディア



3 分間ストレッチの実施

デスクワークで凝り固まった、首・肩・腰を軽くするため、午後3時に声掛けをし、各社員が自席で参加する『3分間ストレッチ』を実施している。知識のある社員が先頭に立って行い、自分のタイミングでも出来るようアドバイスしている。



アルケア株式会社



パラアスリート社員の活動を全社員で応援、 スポーツを通じた社員間交流を補助金制度で促進

パラアスリート社員3名を雇用し、活動情報や応援の様子を社内外に広報している。障害に負けることなく世界を舞台に活躍する3選手の姿を通じて、病気やけがの人を元気づけたり、パラスポーツの認知度向上を促進したりしている。

また、マラソンやフットサルなどの部活動のほか、スポーツやレクリエーションを補助金制度で促進し、健康増進や社員間交流の活性化、部署を越えた顔が見える風通しの良い社風作りをしている。



株式会社ANSIN-LINK



所属プロ選手・スポーツ経験者の指導に基づく社員参加型体験プログラムの導入及びプロアスリートの活動支援

従業員の運動不足を解消しリフレッシュする事で、生産性の向上と健康促進を同時に確保する事を目的とし、フットサル・野球・ゴルフ・テニス・スノーボード・ボルダリング等の社内経験者が中心となり、従業員が参加出来る機会を企画・実施している。

また、弊社所属のアスリートが大会に出場する際には従業員対象の応援ツアーを実施し、会社が一丸となって選手を応援する体制を作っている。



イーオクト株式会社



全社でスタンディングデスクを導入し、スタンディングワークを実施

“座りすぎの害による健康被害をなくす”ことと同時に、“生産性アップ”、“メンタルヘルス向上”のために日々のスタンディングワークを推奨、実践している。他にも朝礼時の体操、階段使用の推奨、年に一度の体育イベントなどを実施している。



いちご

いちご株式会社



アスリートの雇用及び役職員による部活動の実施

ウエイトリフティング・ライフル射撃・陸上部を創部し、メダリストを含む各選手を社員として雇用するとともに、国内外での大会開催時の社内応援ツアーやライブビューイングの実施等、応援にも力を入れている。ウエイトリフティング協会・ライフル射撃協会オフィシャルスポンサーおよびJリーグのトップパートナーとしてもスポーツの振興に貢献。役職員による部活動（フットサル・ランニング・ゴルフ・ラグビー）も盛んで、業務の円滑な遂行にも繋がっている。



いちよしビジネスサービス

いちよしビジネスサービス株式会社



始業時にラジオ体操の実施

社員の健康が生産性向上へ繋がることの趣旨で、短時間で全員が参加できることから、毎朝の始業時に役職員全員でラジオ体操を実施している。ラジオ体操地域リーダー認定者の先導により、月曜日から木曜日はラジオ体操第1、金曜日はラジオ体操第2を行っている。

出光ユニテック株式会社



スポーツを通じた心身の鍛錬と コミュニケーション円滑化

心身の鍛錬と社員相互の親睦を目的に、社内スポーツクラブ活動に補助金を出している。特にサッカー部は社内のみならず出光グループ、取引先企業や異業種との対外試合にも活発に取り組み、一企業の枠を超えた活躍をしている。北海道、愛知等遠隔地への遠征や他事業所での支部設立等、その活動は益々の盛り上がりを見せている。

伊藤忠エネクス株式会社



社内スポーツ活動支援制度による健康増進や、NPO 法人 支援、アルティメットをはじめとした各スポーツへの協賛

部署の垣根を越えて同好会として各種スポーツ活動を行う団体に対し、活動費用の一部を会社で補助することでさらなる活性化を図り、社員の健康推進の一助となっている。

また、スポーツ「アルティメット」の国内外の大会への協賛や、日本フライングディスク協会との協働による次世代教育活動を実施している。

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社



スポーツイベントで利用できる ボランティア休暇制度及び活動費補助の利用促進

社員がスポーツイベントへ積極的に参加することで健康増進を図り、一体感の醸成に努めている。「NIPPON IT チャリティ駅伝」への協賛・参加のほか、被災地支援のスポーツイベントに、ボランティア休暇取得制度や活動費補助を利用してもらうことで、積極的な参加を促進している。

伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社



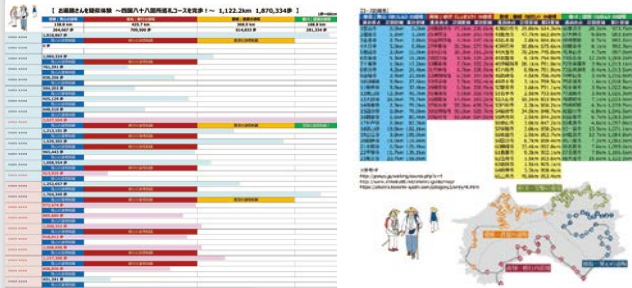
13 の運動系相互会活動及び全社運動会

蹴球部、テニス部、ヨガ部、ゴルフ部、空手道部、野球部、剣道部、卓球部、ランニング部、ダンス部、ピラティス部、ラグビー部、バレーボール部合計13部の運動系相互会活動の支援をおこなっており、相互会が主催の全社スポーツイベントも定期的に実施している。

ウォーキングイベントに加えて、本年度は社員の健康意識の向上と社内コミュニケーションの深化を図るため、全社運動会を実施し、社員及び家族も含めて約300名が参加した。



株式会社イトー



全社員に万歩計を配布し、お遍路さんを疑似体験する「四国八十八箇所巡礼コースを完歩!」を実施

全社員に万歩計を配布し、1ヶ月毎に集計結果を掲示する。四国八十八箇所巡礼コースの距離と集計結果の累積を棒グラフで並列表示し、途中経過と達成具合をわかりやすく表現している。四国八十八箇所巡礼コースの総距離1,122.2kmを1年間掛けて完歩する。



株式会社イトーキ



独自ソリューション「はたらきかた健診」を実施し、働きながらの健康づくりを展開中

東京近郊の事務所やお客様先への訪問に、自転車での移動をトライアル中。事務所内にも自転車置き場を設置し、社員が利用しやすい環境を提供している。

また、ワンフロアのためのオフィスでは、階段の利用機会が少ないという課題に対し、会議室の机を卓球台として利用可能なテーブルに変更。昼休みは会議室をフィットネスルームとして活用している。



株式会社インテック



社内スポーツ大会および、ウォーキングイベントの開催

年1回、各地区でのスポーツ大会優秀チームが集まり、野球、ソフトボール、サッカー、テニス、バドミントンなどのスポーツを競う「全国大会in富山」を開催している。

また、健康保険組合と連携し、春と秋の年2回ウォーキングイベントを実施。参加者にはスポーツ用品や健康増進グッズを購入する際に使用可能なポイントを付与し、社員のスポーツ活動を推進・支援している。



一般社団法人ウェルネスウェンズデー協会



障害者アスリートの雇用及びコーポレートゲームズへの参加

障害者陸上競技の(走り幅跳び・100メートル走)の澤田優蘭選手を雇用している。2020大会日本代表に選出されるよう、遠征費用や本社内にあるヨガスタジオでのレッスン等、全社をあげて支援している。

また、コーポレートゲームズに参加(5競技)することで、部門間を超えた社内コミュニケーションの活性化を図っている。



ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社



定時 1 時間前退社をして運動をする制度

運動機会の創出、習慣化と働き方改革における残業時間削減の同時達成のため、週1回定時前退社し、その時間を運動に充てることを許可する制度を実施している。制度の利用にあたっては3ヵ月ごとに目標設定とレビューを実施し、個人の健康課題改善を促進している。



WELLNEST

株式会社ウェルネスト



通勤時の道玄坂の緩い斜度を利用した運動と、階段 6 階分を利用した運動の推奨と実践

通勤時に全員が通る道玄坂の緩い斜度を利用し、ハムストリングスからつま先までを使う運動を実践している。さらに、会社がある6階までの階段120段を上るなど、上下の選択は自由とし1日1回以上の階段利用を推奨している。帰宅の際は、下り坂を利用した歩き方で膝や前腿を使う運動の実践をしている。日常の運動習慣が健康の保持増進となり、各自の休日の運動習慣に有効に繋がるよう励ましあっている。



株式会社ウェルネスファームひょうたん島



島内スポーツへの社員派遣を通じて島の元気をお手伝い

運動指導、けが予防、救護の専門家として、社員それぞれ得意分野のスポーツ団体のサポートに参加している。野球、サッカー、柔道、トレッキング、バレーボール等の指導はもちろんのこと、けが予防のリスクマネジメントを積極的に行っている。また、杏文学園とコラボをして、ロードレース大会、サッカー大会、野球合宿の救護サポート、高齢者運動教室を行っている。



ANAテレマート株式会社

ANA テレマート株式会社



スポーツイベントへの参加促進と障害者スポーツ体験の実施

ANAグループ大運動会や各支店主催のスポーツイベントへの参加を促進している。社内には、野球・ボーリング・卓球などのサークルがあり、健康増進と社員の一体感醸成を目指している。

2020大会推進を目的とした障害者スポーツ体験では、ブラインドサッカーやブラインド卓球を実施し、航空運送の一翼を担う社員として、ユニバーサル教育の理解促進にもつながっている。



エムサービス株式会社



早稲田駅伝や、スペシャルオリンピックスの協賛

早稲田駅伝に走者として参加(計159名)するとともに、運営ブースの出展及び特別協賛をしている。

スペシャルオリンピックス主催イベントにランナー・ボランティアとして参加している。



エムサービスジャパン株式会社



スポーツを通じた職員同士の交流促進等

部活動だけでなく、部員が主体となってスポーツ教室を開催し、多くの社員やその家族がスポーツに触れる機会を得られるよう工夫している。(テニス部によるテニス教室など)

各事業本部内で、ウォーキングイベントやボウリング大会、ソフトボール大会など各種スポーツイベントを開催している。



株式会社エコ・プラン
豊かな環境を創造する

株式会社エコ・プラン



『仕事もスポーツも “やる気日本一企業”、75%以上の社員が参加する6つの部活やサークルを運営』

軟式野球部、サッカー部、バスケットボール部、陸上サークル、テニスサークル、ゴルフサークルに社員約300名のうち、約75%が参加している。また、運営費の一部を会社が負担しており、社員が参加しやすい状況を作っている。役員がこの取組に理解があり、サポートはもちろん、役員自身も参加して社員との交流を通して、風通しの良い社風作りをしている。



SMK 株式会社



ウィルチェアーラグビー支援活動

自社障害者アスリートの活動情報やウィルチェアーラグビー関連の情報などをSNSを通じて発信することにより、パラスポーツの普及、発展への貢献活動を促進している。また、ウィルチェアーラグビーの普及活動を小学校で開催し、社員ボランティアが運営に参加するなど、会社だけではなく社員が率先してパラスポーツの応援を行っている。



株式会社エスクリ



部署対抗マラソン大会の開催と積極的な プロ部活動の実施

社内交流と部署対抗として、リレーマラソン大会を定期実施している。チームで力を合わせるリレーマラソンは、部署の一体感とともに参加者全員の一体感を醸成し、日頃運動する機会がない社員も自発的に運動するなど機会の提供につながった。

ゴルフ・水泳・トレイルランニングについて、各年代別に元プロ選手や全国大会クラスの実力者を社内から募り、活動している。社内のセミプロ選手を選出したことで、参加のハードルが下がり、参加者も徐々に増加している。



SG ホールディングス株式会社



主な取組内容紹介社内スポーツ大会の実施や スポーツ振興及び次世代育成

毎年5月にグループ保有施設にて大運動会を実施している。事業会社混合チームや、全国各支店別など合計1,000名を超える参加者が対抗戦を通じて、社員・家族の繋がりを深めている。

また、実業団スポーツチームによる小中学生向けの講習会実施や小学生対象のスポーツ体験イベントへの協賛等、スポーツ振興及び次世代育成を支援している。



NOK 株式会社



本社勤務者全員を対象とした ウォーキング・ラリー企画の実施

本社勤務者全員を対象に、約3ヶ月間歩いた歩数の合計で京都まで到達しよう、というウォーキング・ラリー企画を実施している。

経過地点、到達地点に応じて賞品を提供する他、個人や部署単位で平均歩数を競わせるなど、毎日一定以上歩くモチベーションを保つよう工夫している。



株式会社 エフピコ

株式会社エフピコ



ユニバーサルスポーツであるフロアホッケー 活動をグループ企業あげて推進

障害・年齢・性別に関係なく一緒にプレイするユニバーサルスポーツであるフロアホッケーのチームを全国10拠点で結成(計16チーム、うち東京3チーム)。グループ社員約600名(障害のある社員約200名、障害のない社員約400名)が、同じアスリートとして、概ね月に一度集まって練習し、年に1~2回大会に参加して、共に汗を流している。さらに、東京と広島で年に一度行われる2つの大会ではメインスポンサーとなっているとともに、多くの社員がボランティアとして運営に参画している。

MS&AD MS&AD インターリスク総研株式会社

MS&AD インターリスク総研株式会社



腰痛体操、歩数ランキング、階段利用、スタンディングミーティング等の実施

「ウォーキングセミナー」を開催し、正しい立ち姿勢や歩き方を実践形式で学習している。

また、著名な先生を講師にお招きし「肩こり・腰痛改善セミナー」を実施し、「肩こり・腰痛」の悩みを解消できる体操を実践を交えながら学習した。腰痛改善により歩く姿勢もよくなり、相乗効果も期待できる。

さらに、日常的にアプリを利用した歩数ランキング、階段利用やスタンディングミーティングを推進している。

1.STAGE

株式会社エムステージ



「合間ストレッチ」と「レクリエーション補助」で社員の主体的なスポーツ活動を推進

全員が手軽に続けられる「伸び」「フラミンゴ体操」などの合間ストレッチを、月に一度テーマを変えながら実施。また、社員同士で行うスポーツ／アウトドア活動に対し補助金を支給する「レクリエーション補助」によって、主体的な活動を生み出し健康増進を目指している。活動例はフットサル、テニス、ゴルフ、野球、登山、乗馬、キャンプと多岐にわたり、健康増進のみならず社員同士のコミュニケーション促進にも役立っている。



株式会社 MPandC



スポーツ大会 / イベントや体操スクールなど、地域貢献活動を実施

自治体と連動して、地域の子供達向けに現役・引退したアスリートによるスポーツのほんもの体験教室を開催。

日本がフリーキック先進国となり世界で優勝することを目的として、U-18フリーキック選手権を東京工業大学附属科学技術高校にて開催。サッカー元日本代表三浦淳寛氏と元国際審判員の西村雄一氏が大会アンバサダーとなり大会には高校生24チーム約150名が参加。合わせて地元の小学生を集めてサッカー体験教室も開催。

Oisix ra daichi

オイシックス・ラ・大地株式会社

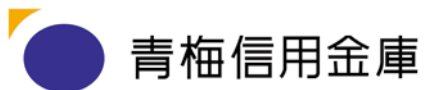


障害者スポーツへの食の提供を通じた支援や、社員の観戦や体験会を企画

一般社団法人日本ウィルチェアラグビー連盟とオフィシャルサプライヤー契約を締結し、食材提供による支援や、情報発信を通じたファンづくりの支援を行っている。

ウィルチェアラグビーの試合を中心に、社員による応援や、障害者スポーツの体験会への参加を積極的に行っている。

また、今年からゴールボールの選手たちにも食材提供、食を通じた支援を始めている。



青梅信用金庫



スポーツ大会への協賛やイベントへのボランティア派遣

青梅マラソン大会へ、毎年200名以上の役職員が参加選手受付ボランティアを担当するなど、長年に亘り大会実行委員として運営協力しているほか、参加者へのグッズ提供やロードレースへの支援など、協賛企業として様々な面から大会運営支援を行っている。



株式会社オーエンス



アスリートの雇用及びサポート

5名の現役アスリートを社員として雇用しており、大会出場時には社内会議や掲示板等で情報共有し、社内全体で応援できるようにしている。また、アスリートの後押しになるように、横断幕や応援パネルを作成するなど、様々な面でアスリートの活動を支援している。



大塚製薬株式会社



オフィス内体操や運動プログラムを実施

社員一人ひとりが健康に生き生きと働けることが大切と考え、週一回8分間のオフィス内体操「ポカリフレッシュ」や、社員やその家族を対象とした健康増進やメタボ・疾病予防につながる運動プログラムを実施。また、各スポーツイベントに社員が自主的に参加するなど、スポーツを通じた健康づくりを実践している。



株式会社オートバックスセブン



コーポレートゲームズ及び24時間リレーマラソンへの参加と社内クラブ活動の推進

世界中で100万人、日本国内で1万人が参加する企業対抗運動会の「コーポレートゲームズ」に毎年150名前後の従業員が参加している。また、24時間、交代制で走り、走行距離数を競う「ランナーズ24時間リレーマラソン」の富士北麓大会と大阪舞洲大会に毎年240名前後の従業員がランナーとして参加している。

社内クラブ活動も積極的に支援し、年間最大10万円の活動資金を給付して、スポーツする環境を整えている。



一般社団法人鬼ごっこ協会



子供の頃から大人気の「鬼ごっこ」で健康改善

子供達には学校体育や放課後、休日のレクリエーションとして、大人には心のリフレッシュや健康増進のためのプログラムとして取り入れてもらえるよう活動している。協会のスタッフ自身も、心身の健康やメンタルヘルスケアのためにいろいろな種類の鬼ごっこで遊んだり、フットサルやジョギングなどの運動も継続的に実施している。



株式会社オフィス24



健常者もできる人気パラスポーツ シッティング・バレーボール教室を開催(自由参加)

パラリンピック競技でもあるシッティング・バレーボールの体験教室を月1度開催。パラリンピック シッティングバレーボールの監督・選手等の協力のもと、本格的なプレーと練習方法を実施しつつ、初心者でも無理なく、丁寧に指導している。開催時間は勤務後に社員が自由参加できるように19時～21時。社員以外も参加を受け付けている。

また、社員でオリジナルチームを作り、全国大会に出場している。



オントフ株式会社



毎朝のラジオ体操の実施、階段利用の促進及び ヨットレース参加

健康な体の維持を目的として、毎朝ラジオ体操を実施しているほか、基本的に営業活動先(ビル)では、階段を使用している。営業先から帰社する際には、一駅間をウォーキングするよう努めている。また、海の自然のなかでのスポーツ活動として、東京湾ヨットレースには6年連続参加している。



The power to amaze yourself.®

株式会社カーブスジャパン



全社員に対して「カーブスワークアウト」を 月8回以上実施することをルール化

全社員が月8回以上のカーブスワークアウト実施をルール化し、(一般職、時短勤務のメンバーは、月に5回以上)勤怠シフトにて、実施回数を管理している。実施できない場合は、筋トレと有酸素運動を含む30分以上の運動をワークアウト1回分とした運動プログラムの実施を推奨している。

Kao

自然と調和する ころ豊かな毎日をめざして

花王株式会社



ヘルスケアの知見を活かし、 「Kao みんなの GENKI プロジェクト」推進中!

「歩いてGENKIになる!」取り組みとして、「歩行測定会」による歩き癖への気づきの提供、歩行計「ホコタッチ」による、歩く量、“時間帯”、“速さ”に対する啓発。ウォーキングキャンペーンでは、楽しく“歩く”活動を推進。日常の「歩く」を推奨するため、階段をジムに見立てたゼロ円ジム、休憩時間などを利用した各種スポーツクラブ活動、企業内運動会、ソフトボール大会、ハイキング等を通じ、「スポーツでGENKIになる!」活動も積極的に推進。この取り組みから、社員と家族の健康増進、QOLの向上を目指し、よきモノづくりを推進する。

Calbee

カルビー株式会社



運動不足解消及び生活習慣病予防のために 本社でウォーキングイベントを実施

4週間の期間を決めて、目標歩数(男性9,000歩以上/1日または252,000歩以上/4週間、女性8,000歩以上/1日または224,000歩以上/4週間)を設定し、本社でウォーキングイベントを実施。通勤時や休日に普段より多く歩くことを推奨し、イベントを通して運動習慣の重要性を啓発した。目標歩数を達成した参加者には賞品を授与、特に成績が優秀であった参加者は表彰した。また、取組は社内イントラにて共有した。

KANSAI PAINT

関西ペイント株式会社



社員のスポーツ活動への支援

社員が運動に取り組みやすい環境として、トレーニング室、テニスコート、卓球場、シャワー室などを社内に整備するとともに、クラブ活動には補助金を拠出している。また、毎朝のラジオ体操の放送やボウリング大会を開催し、社員が体を動かす機会を作りながら、社員間の交流を促す取り組みをしている。

KANSEI

管清工業株式会社

管清工業株式会社



「ツール・ド・三陸」サイクリングイベントを通じて 東日本大震災からの復興を目指して参加

東日本大震災からの復興を一つの目的として開催している「ツール・ド・三陸」。岩手県陸前高田市及び大船渡市内をコースとしたサイクリングイベントに自転車部が毎年参加及び協賛している。コース内は今でも復興作業が行われており、被害の大きさを物語っている。今後も本大会を通じて被災地の復興に少しでも協力していきたい。



株式会社協栄



アスリートの雇用 階段利用の促進

アスリート社員の出場する大会等の観戦、ラフティング体験イベントを積極的に行っている。
さらに、本社ビルにおいてメタボリック改善の取組として階段利用を促進している。



株式会社ぎょうせい



障害者アスリート採用や社内イベント実施、 部活動支援を通じて社内スポーツを推進

社内交流や健康増進等を目的としたチーム対抗のスポーツゴミ拾い大会を、毎年10月に実施し、社員とその家族100名以上が参加している。また、公認部活動に対して、活動費を補助し、社員のスポーツ活動を支援している。
平成29年からは、障害者アスリートの活躍を見たり、応援したりすることを通じて、社員自身の振り返りや社員の一体感を促進し、組織力や社員の意欲を高めることを目的に、障害者アスリートの採用活動を開始した。



人と社会に快適テクノロジー

共同カイツック株式会社

共同カイツック株式会社

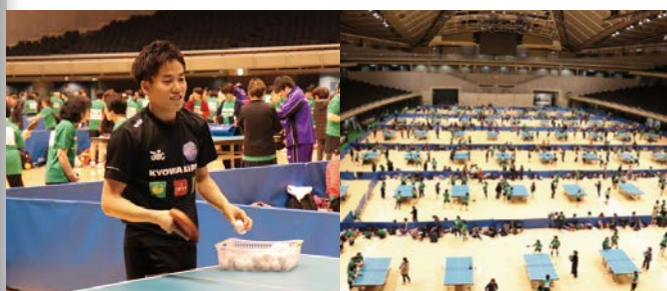


少年フットサル大会の開催と障害者アスリート、 女子サッカー選手の雇用

女子サッカーなでしこ2部リーグの選手と障害者アスリートの雇用している。また、プロボクサー、井上尚弥・拓真兄弟をスポンサードしており、試合の際には、応援する社員に補助をしている。さらに、毎年地域小学生のフットサル大会を開催している。

KYOWA KIRIN

協和発酵キリン株式会社



スポーツを通じた社会貢献活動

協和発酵キリン卓球交流大会には毎年各地から約700名が参加している。また、卓球部は特別支援学校や障害者支援施設を訪問し、卓球の楽しさを共有している。さらに、事業場周辺の活動として、卓球教室、テニススクール、キックベースボール大会、サッカー教室を開催し、地域と交流している。



きらぼし銀行

株式会社きらぼし銀行



スポーツの普及・振興を通じた 地域社会の発展への貢献

都内在住の小学生グループや少年少女サッカーチームをJリーグクラブ「FC東京」の試合観戦に招待。「FC東京」の応援イベントとして冠試合を開催し、職員やお客さまを招待するとともに、同イベントでは子どもたちの育成資金を贈呈。また、小学生バレーボール大会や少女サッカー大会、東都大学野球連盟等へも協賛。さらに、アスリートの採用内定等、スポーツの普及・振興、将来を担う子供たちの成長支援に継続的に取り組んでいる。



錦城護謨株式会社

KINJO RUBBER CO.,LTD.

錦城護謨株式会社 東京支社



障害者スポーツ大会の 会場バリアフリー化への協力

障害者スポーツ大会を開催する施設で、視覚障害者向けの誘導設備を完備した施設は非常に少ないため、屋内用の誘導マットを大会会場へ仮設することで一時的に会場をバリアフリー化し、選手や介助者の負担を軽減する取り組みを行っている。



クーリード株式会社



スポーツイベントの参加、 「健康維持」を目的としたウォーキングイベントを実施

総合スポーツ部の設立、活動費補助等の支援を行い、都内でスポーツイベント（ボルダリングやマラソン）に参加している。

また、年に6回程度、社員やパートナー企業とチームをつくり、リレーマラソンに出場している。そのためのマラソン練習会を2ヶ月に1回程度開催しているほか、走るのが苦手という従業員のために、5km程度のウォーキングイベントを2ヶ月に1回定期開催している。



KUJI ARCHITECTS STUDIO

株式会社 久慈設計®

株式会社 久慈設計東京支社



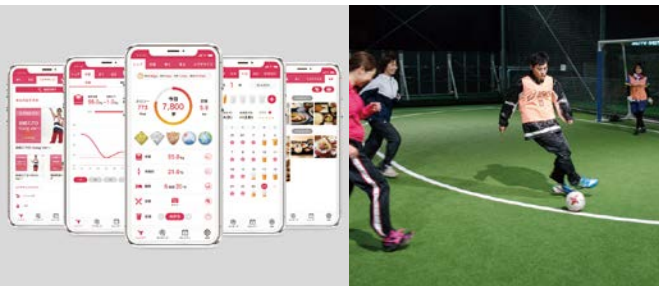
アスリート社員の広報誌発行による社内外への 活動内容・近況等の周知

女子アイスホッケーの小西あかね選手を雇用しており、選手の近況や活動を報告する広報誌「あかねだより」の社内外への配布や、社員が練習の見学や試合への応援をするなど、社員一丸となって小西選手をサポートしている。

また、毎朝社内でのラジオ体操の実施や、パラリンピック競技の体験イベントへの参加など、積極的にスポーツの推進活動を行っている。



株式会社グッピーズ



アプリ「グッピー ヘルスケア」を活用した健康管理の推進及びスポーツ大会の開催

アプリを利用した法人向け福利厚生サービス[健康ポイント]を社員の健康増進として活用。健康活動でポイントが貯まり、貯まったポイントは現金、またはAmazonギフト券に交換できるので、楽しみながら取り組んでいる。社内では自然と健康活動の話題が増え、歩数を競い合うなど、社員の健康への関心が高まった。

また、年に2回ほど、クライアント様も交えたスポーツ大会を開催している。

For Earth, For Life



株式会社クボタ



企業スポーツの推進と従業員の健康を目的としたラグビー観戦ツアーやラジオ体操の実施

ジャパンラグビートップリーグ観戦ツアーの実施、ラジオ体操の実施のほか年に1回、社内の共有スペースで、ダーツ大会を開催している。毎年延べ500名ほどが参加しており、社員間交流の場にもなっている。



株式会社蔵守



プレミアムフライデーに帰宅時の徒歩推奨及び少し長い距離を歩きながらの青空会議の実施

プレミアムフライデーには、帰宅時に徒歩を推奨している。電車通勤の場合、会社最寄り駅の一つ先で乗り、自宅最寄り駅の一つ手前で降りる取組であり、自宅までドライという日も推進している。

また、快晴の日にオフィスにこもりっぱなしなんてもったいない!という意見から、爽やかな空気を吸いたくなったらリフレッシュを兼ね、歩きながらの青空会議を実施。軽運動を継続し健康増進することを促進している。



株式会社 Criacao



サッカークラブに所属する社員の活動支援及びブラインドサッカーや、皇居ラン等の実施

社員の約半数がサッカークラブに所属しており、接骨院と提携することで社員が無料で診察を受けることができる体制を整えている。

皇居ランイベントは、元プロアスリートの方をお招きして実施している。正しい走り方を学ぶことで、社員自らの生活を見直し、健康増進を図るきっかけ作りを積極的に行っている。また、この活動には他社様も巻き込みながらコミュニティ形成も促している。



京王観光株式会社



社員のレクリエーション、スポーツ活動を支援

社内で承認したクラブ活動に対して、クラブ活動補助金を支給するなど、社員のスポーツ活動を支援している。各クラブとも定期的に活動スケジュールを組み、それぞれが自立して活動しており、クラブによっては就業後にトレーニングや練習を行うなど、運動を習慣づけ健康促進を図っている。スポーツを通じた部署間の人事交流は、社内に連帯感を生み出すことに大きく貢献している。



KNT-CT ホールディングス株式会社



発達障害の小中学生を対象に実施するサッカークリニックに社員がボランティアとして参加

発達に障害や課題をもつ小中学生を対象にサッカーを通じて「コミュニケーションの力を育てていく」ことを目的として、当社グループの従業員が子ども達のサポート役として一緒にプレイしている。さらにこの活動によって、パラスポーツの普及やスポーツツーリズム推進への貢献を目指している。



医療法人社団 涓泉会 山王リハビリ・クリニック



社内運動部の実施、東京マラソンへの参加

月に2回、地域の小学校の体育館で地域の方たちとの交流を兼ね、いろいろなスポーツを実施した。

また、従業員の各種スポーツの区民大会への参加や、東京マラソンへのチャリティーランナーでの参加を促進している。



高栄警備保障株式会社

高栄警備保障株式会社



空手道部 実業団大会へ参加

実業団の大会で活躍している空手道部を中心としてスポーツ活動を行っている。平成30年度は全日本実業団空手道選手権大会で3度目の快挙となる団体組手・団体形のW優勝を果たした。空手道部は強化選手・準強化選手・一般選手と組み分けており、選手は仕事と練習を両立してそれぞれ励んでいる。他には、フットサルや野球のチームなどがある。



広友サービス株式会社



「健康の日」を設けるなど健康経営の実現を目指し、
「心身ともに健康」に働ける環境づくりを推進

ヨガ教室を毎月第2火曜日と第4水曜日に開催し、社員に部門を隔たりなく参加を呼び掛けている。実施後にはアンケートを行い、参加者の希望に沿った内容になるよう工夫している。

また年に1度社員が健康について振り返る日を設け、講師を招いて講演などを実施している。



広友物産株式会社



「健康の日」を設けるなど健康経営の実現を目指し、
「心身ともに健康」に働ける環境づくりを推進

管理職が中心となり、毎朝朝礼前にラジオ体操を実施している。

社が協賛するサッカークラブについて、社員やその家族とともに観戦・応援ツアーを実施している。



株式会社ゴールドウィン



スポーツ・ファーストにより、
人々の健やかで楽しい、豊かな人生へとつなげる

スポーツファーストを実践すべく、様々な取組を実施している。

始業前、毎朝全社員がラジオ体操を実施するとともに、健康者、障害のある人にも分け隔てなく、スポーツを楽しむ機会が与えられるよう、「する人」「見る人」「支える人」を等しく支え、誰もが健やかに暮らせる「共生社会」の実現に寄与することを活動方針とし、障害者アスリートの雇用、当社サポート選手を応援することで、競技ルールを学び、奥深さを体感している。

さらに、東京・富山の2会場にて、従業員による運動会を実施している。



国際ソフトウェア株式会社



社内部門別対抗ウォーキング大会の実施!

全社員及びOBを対象に、ウォーキング大会を実施。毎回、定期健康診断の結果を元に、特定の項目に注視して、C判定以下の社員には参加を促し、健康の向上に役立てている。開催都度、趣向を凝らした企画を考え、運動習慣の定着化に繋げている。また部門で競い合うことで、社員同士のコミュニケーション活性化にも役立てている。

KONAMI SPORTS CLUB

コナミスポーツクラブ



アスリートの社員雇用と競技部の運営、選手の運動教室参加等によるスポーツ振興貢献

社内に体操競技部と水泳競技部を設立して以来、長年にわたり、世界で活躍する選手の育成・輩出を目指し、選手を全力でサポートするとともに、選手の競技活動と就労の両立を可能にする環境の整備を進めてきた。選手たちは、体操、水泳教室などの自社の各種活動への参画を中心として、スポーツ人口のすそ野を広げる活動を続けている。また、引退した選手を引き続き社員として雇用し、自らの経験を生かして、選手の育成や子どもたちの指導に携わる環境も整えている。



株式会社コロプラ



パラアスリートの雇用とその応援・交流活動および部署を横断した部活動の推進

2018年よりパラアスリートの雇用を開始し、現在は3名を雇用。社内への試合情報共有による社員の応援活動や、アスリート専用WEBページを用いた社外活動報告、定期的な社員への報告会などの交流活動も実施している。

また、社員同士のコミュニケーションの促進や心身面での健康支援として、部署を横断した部活動を推進しており、月に一度以上活動のあった部に対し、部員あたり1,000円の補助を毎月行っている。

SEARCH FIRM JAPAN The Search Agent

サーチファーム・ジャパン株式会社



役職員全員参加でラジオ体操を実施するほか、アスリート社員の雇用及び競技活動支援を実施

社内にて朝礼時に役職員全員参加でラジオ体操を実施し、社員の健康意識や活力向上を推進している。

また、オリンピック・ワールドマスタースゲームズを目指すテコンドー選手をアスリート社員として雇用。選手の成績や取組の状況に応じて、大会参加費や遠征費を補助するなど競技活動を支援している。勤務体系も現役選手の間は競技活動を優先とし、仕事と競技の両立を応援。大会の際には社内にて報告を行い、社員の競技に対しての理解を深めている。



サイショウ・エクスプレス株式会社



SAISHO SOCO YOGA (ドライバー向けヨガメニュー)

トラック運転席でもできるヨガのポーズと姿勢を実践で学び倉庫の空きスペースを活用してヨガスタジオを作り、勤務時間中や待機時間中に実施し、従業員の健康づくりや交通事故防止に取り組んでいる。



サトーホールディングス株式会社



毎月個人に健康増進アクション手当、毎年組織には健康経営推進賞で運動習慣を支援中!

2015年より毎年、社員に「わたしの健康目標」を目標数値入りで提出させ、毎月健康増進アクション手当(月2000円)を支給。社員はマラソンやウォーキング等スポーツイベント参加費やスポーツクラブ利用費、運動用具の購入資金等に健康増進アクション手当充当。

組織の健康増進施策支援として年初にスポーツイベント計画を提出後、事業所、部門毎に健康増進活動状況を社内イントラサイト「サトーの健康経営サイト」で共有し、その活動状況を審査し毎年「健康経営推進賞」を選定。結果、運動習慣者率が年々向上している。



株式会社 佐沼建築システムデザイン



フットサルサークルを通じて社員の健康促進 取引先との交流試合を行い、相乗効果

毎月、定期的に部員が集まりストレッチから始まり、全身運動を意識した練習をボールを使って行っている。練習後は、紅白戦を行いスポーツ自体も楽しんでいる。年間数回ではあるが、自社大会を主催して取引先との交流試合を行っている。

フットサルというスポーツを通じて、取引先とのコミュニティーを図りつつ日頃の運動不足解消の場として活用している。



株式会社サンアメニティ



スポーツ大会・イベントへの参加

社員の勤務あるいは居住している地域のスポーツイベント(マラソン、トライアスロン等)や自治体主催の大会への参加者やボランティアスタッフとしての自発的で積極的な参加を推奨している。また、その活動状況のほか日々のラジオ体操やウォーキングといった地道な活動の様子を社内ネットワークを通じて情報共有することにより、社員自らの健康増進の意識を高め、個人や集団としてのスポーツ振興に努めている。



サンシン電気株式会社



身近な運動として、エレベーターやエスカレーターを利用せず、階段利用を推奨・実践

自社ビル内では、顧客と一緒にいる時以外は、原則、全社員のエレベーターの利用を禁止し、階段を利用しており、身近なところから運動を取り入れるようにしている。

また、日常生活の中でも、駅などではエスカレーターやエレベーターを利用せず、階段を利用することを推奨し、実践している。

SUNTORY

サントリーホールディングス株式会社



チャレンジド・スポーツ(障害者スポーツ)への支援

目標に向かって日々挑戦しているチャレンジド・アスリートや団体をサポートする「サントリー・チャレンジド・スポーツ奨励金」、東北(岩手・宮城・福島)の小中学校に訪問し、車いすバスケットボール体験を行う「アスリートビジット」、さらには清涼飲料のチャリティ支援自動販売機を設置し、車いすバスケットボール日本代表へのサポートなど、チャレンジド・アスリートの皆様に寄り添った活動を展開している。

CAC

株式会社 CAC Holdings

株式会社 CAC Holdings



社員「自らの実践」を軸とした、ボッチャの魅力と奥深さを伝える普及・支援活動

ボッチャを始めたい団体へボールセットやランプを届ける「用具寄贈プロジェクト」、ボール間の距離を自動測定するアプリ「ボッチャメジャー」の開発と無料配信、都内特別支援学校を招いてのボッチャ交流戦「CACカップ」開催などの普及・支援活動を、グループ社員で企画・実施している。また、ボッチャのトップアスリートを社員として迎え、競技活動の支援や、アスリートへの応援を通じたグループ一体感の向上に取り組んでいる。

GFF

Global Food Factory

株式会社 GFF



就業開始時にストレッチ・ラジオ体操の実施や階段利用の促進

各工場にウェルネスリーダーを選任し、健康増進や体力向上などを図るとともに、TOP自ら朝の体操などを実施することで、会社全体に浸透している。また、オフィス内の移動は原則階段利用を促進している。

JTB

感動のそばに、いつも。

株式会社 JTB



障害者アスリートの支援およびパラスポーツ運動会の実施

パラサイクリングの障害者アスリート小池岳太をグループ会社で雇用しており、社内で応援ツアーの実施や、自身の近況をブログにて社内外に発信することで、パラスポーツの認知度を高める取り組みをサポートしている。また、パラスポーツを活用した企業対抗運動会を支援しており、パラスポーツの魅力を広げる取り組みを行っている。



株式会社 JP ホールディングス 東京支社



社員の健康増進、アスリートの雇用と活動支援 およびスポーツを通じた子育て支援

社員の健康増進として、朝夕のラジオ体操、フィットネスクラブの利用促進、スポーツを楽しむ部活動支援などを実施している。

また、グループ企業で陸上7種競技のアテネ五輪日本代表選手やパラ卓球・アルペンスキーの選手を雇用し、国際大会への派遣や社員参加の応援ツアー開催など、アスリート活動の支援をするとともに、こども向けイベントへ所属選手を派遣してスポーツを通じた子育て支援活動を行っている。



ジェイレックス・コーポレーション株式会社



スポーツ健康研修の実施及び、 スポーツ観戦の実施

毎月全社員を対象にランニング、ジムトレーニングなどのスポーツ活動を推奨している。担当者が企画をし、全社員に積極的な参加を呼びかけている。その他、社員のサークル活動として、野球、フットサルの大会に向けて計画的な練習をしている。また、協賛したチームの試合を全社員で応援に行った際は、応援グッズを会社から支給し、よりスポーツ観戦を楽しめるよう工夫している。



じげん
ZIGEN OVER the DIMENSION

株式会社じげん



社員のクラブ活動を支援

「わくらぶ」という制度では、社員の心身のリフレッシュを目的としたクラブ活動を支援。好きなスポーツで仲間と共に汗を流すことで、主体的に運動に取り組むことができる。現在は、ヨガ、サッカー、サバイバルゲーム、フラダンスなどの運動部が積極的に活動を行っている。



株式会社ジップス



障害者向けインラインスケート教室の開催

障害者向けインラインスケート教室を月1回、知的障害、発達障害、ダウン症の子供を中心に実施しており、社員に対しても、定例会議やFacebookなどで教室の実施報告やボランティア参加の呼び掛けを行っている。



株式会社シモン



社員スポーツ活動に対する支援

社員のスポーツ活動（駅伝大会、ゴルフコンペ、フットサル、登山など）を促進するために、補助金を支給している。スポーツイベントの募集、活動内容、写真などを社内イントラに掲示することで、多くの社員が参加し健康増進やコミュニケーションの活性化を図っている。



出版健康保険組合



スポーツ大会等の実施と、スポーツ環境の提供

野球、テニス、バレーボール、卓球、バスケットボール、ロードレースや、運動会、ウォーキング等のスポーツ大会を毎年実施している。他のスポーツイベントに参加した費用の補助を行っている。また、スポーツクラブと契約し、身近にスポーツできる環境作りを行っている。なお、自前のスポーツ施設である体育館と野球場、テニスコートについて、都民の利用に供している。



首都大学東京

公立大学法人 首都大学東京



イベントを通じた スポーツ・パラスポーツの普及及び理解促進

スポーツ・パラスポーツの普及、ボランティアによる地域貢献等として、学生及び教職員はもちろん、広く都民に対しても大学の施設を活用したイベント（パラスポーツ体験イベント、ボッチャ教室、スポーツボランティア育成のためのプログラム、地域の青少年育成に向けたサッカー大会）を実施している。



SHIRO GYM SITbics.(シットビクス)



イスを使用した筋力トレーニング・整体ストレッチ を世田谷区や企業さん向けに活動支援

【イスと1畳のスペースがあればどこでも行える】をコンセプトに座るsit動くaerobicsを掛け合わせた『SITbics.シットビクス』を世田谷区、企業、イベント向けに実施している。ハードワークで体を壊してしまった経験から体を動かす機会を提供したいと活動している。イスを座るだけでなく道具として使用する事により、座位運動のイメージを覆すような筋力トレーニング、整体ストレッチ300以上のアレンジプランを用意している。

Xincor miXell Co., Ltd.
XON Holistic Matrix Group



株式会社シンカーミクセル



社員向けスポーツ企画の実施 グループ会社も巻き込んだ東京マラソンへの参加・応援

月1〜2回程度のスポーツイベントを開催している。フットサルやヨガ、散歩などの定期開催の種目に加え、卓球、スケート、テニスやウォーキング大会など、様々な種目のイベントを都度企画している。また、東京マラソンにグループ会社も巻き込んだ社内の一大会として参加し、社内宣伝など応援体制を組んで盛り上げている。



信号器材株式会社 東京本社



卓球教室の実施

年2回（前期・後期）の日本卓球リーグに参加している。また、地域貢献活動として、卓球教室を開催している。

svenson HOLDINGS

株式会社スヴェンソンホールディングス



卓球関連イベントの開催・協賛、選手支援

日本卓球協会とオフィシャルサプライヤー契約を締結し、卓球男子日本代表選手への用具提供を実施。男子卓球日本代表の丹羽孝希選手及び女子パラの茶田ゆきみ選手の所属契約を締結。パラ卓球日本代表選手に対し、練習場の提供とスクールコーチによる育成指導を行い、海外遠征や合宿にもコーチとして同行。

健康卓球の浸透に向け、老年医学・整形外科の専門家や、卓球選手と協働し、高齢者や身体に障害のある方向けプレー方法の提案や、定期的に卓球大会の企画・運営し、幅広い世代に卓球を浸透させる取り組みを実施。



有限会社 すこやか



春と秋の運動会の実施

事業所対抗の運動会を春と秋に実施している。

年度によっては事業所混合チームで「バドミントン」「ボーリング」等種目を決めて開催している。

また、始業前のミーティングでは軽いストレッチを実施しており、万歩計の貸し出しも行っている。



株式会社スタートライン



障がい者アスリートの雇用及び応援ツアーの実施

女子車いすテニス選手を1名雇用している。
海外遠征や国内遠征など競技に専念している中で、国内大会には社員で応援ツアーを募って、社員一同応援をしている。



株式会社スタイル・エッジ



ラジオ体操、スポーツイベント、サークル活動への支援を実施

毎朝始業前の10分間を活用し、ラジオ体操を実施。また、ラジオ体操だけではなく「腰痛改善」や「姿勢改善」等のテーマに沿った健康ストレッチも取り入れている。
他にも年間2回以上のスポーツイベント（プロのトレーナーを招聘したエクササイズやフットサルなど）を開催している。
さらに、スポーツサークル制度をスタートし、健康意識の向上及び運動機会の増進につながるものに対して会社から助成金を支給している。



スポーツコミュニティ株式会社



社内のスポーツ活動の奨励や活動に対する補助金の支給

毎朝の朝礼や毎週の全体会議の場を活用して、社内のスポーツに関する部活動への参加を奨励している。また、月例会議等においては、活動報告などを行い部員募集など、運営の相互協力やコラボレーションを図っている。さらに、活動計画の立案やそれに基づいた運営を促進し、活動内容に応じて会社から運営費を支給している。



スポーツデータバンク株式会社



個人目標に合わせた社内運動実践

弊社運営のスポーツジムのトレーナーと社員一人一人が、2か月に1度カウンセリングを行い、個人の目標と全社員で行う運動機会の際のメニューを作成している。
また、目標達成のために運動機会のメニュー作成のみではなく、日々のトレーニング管理も実施している。



株式会社スポーツビズ

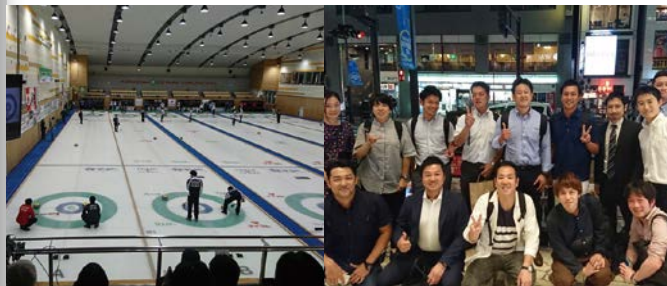


社員スポーツ活動に対する支援

社内スポーツ活動促進制度（テニス・フットサル・ゴルフ等）を実施している。発起人が全社員へメールで開催日時や内容を告知して、都度参加者を募集し、また毎週の全社朝礼で参加を呼び掛けるほか、各部署の責任者は部員ができる限り参加できるように業務の調整を心がけるなど、社員のスポーツ活動を支援している。



株式会社スマートスポーツエンターテインメント



地域のスポーツ支援活動、スポーツ大会・イベントへの参加

地元の板橋区の小学校などを始め、アスリートによるスポーツ教室、クリニックなどを開催するなど、アスリートやスポーツの専門会社のノウハウを生かして、地域のスポーツを支援する活動を行っている。

また、スタッフや取引先とともにランニングやフットサル、ヨガなどのスポーツイベントに参加するとともに、スポーツ観戦会を開催や、スポーツ業界の活性化に向けて業界内の交流会を定期開催している。



株式会社 住ゴム産業



社員はもとより、家族・友人・関連会社も巻きこんでのスポーツ活動を実施

各地の支店ごとに、社員・家族はもちろん、友人や関連企業の方々をも交えてのスポーツイベント（ボウリング、ソフトボール、ハイキング、ゴルフなど）を楽しんでいる。そして、この取り組みを通じて、健康増進、スポーツ推進はもとより、コミュニケーションの円滑化を図り、より良い企業風土づくりを進めている。

あなたの未来を強くする



住友生命

住友生命保険相互会社



社内チーム対抗ウォーキングイベント・始業時の体操実施、スニーカー通勤も推奨

年2回2週間程度のウォーキングイベントを継続的に実施している。

各部署でチームを作り平均歩数を競い合う。スマホアプリ健康増進サービス「KenCoM」を導入し、みんなの歩数を共有することで励ましあいながら楽しく取り組んでいる。また、会社独自の「まあいいの体操」も毎朝始業時に実施、スニーカー通勤も推奨している。



住友不動産エスフォルタ株式会社



アスリート社員に対する活動支援の実施 マスターズ水泳大会参加支援制度の実施

アスリート社員に対しては、競技成績や取り組みに応じて、大会参加費や遠征費の補助を実施している。

勤務シフトの調整や担当業務の分担を工夫することで、練習機会の確保と大会参加を促進しており、お客様や若手社員のロールモデルにもなるため、支援制度を設けている。

今年度は5名在籍(100kmウルトラマラソン、ウエイトリフティング、テコンドー、水泳、メンズフィジーク)している。また、マスターズ水泳大会は社員やアルバイトも対象とし有志で、試合に出場してもらっている。

信頼される安心を、社会へ。



セコム株式会社



各種スポーツ競技への協賛、 社員のスポーツ活動に対する支援

箱根駅伝、東京マラソンなどの長距離競技への協賛、ラグビー男子日本代表、ラグビー女子日本代表、スーパーラグビー「サンウルブズ」への協賛など幅広く支援を行っている。

また、社員で構成しているラグビー部「セコムラガッツ」を運営。ラグビー部によるタグラグビー教室の開催等、競技の普及にも取り組んでいる。



ゼット株式会社



従業員のクラブ活動を支援・スポーツ大会で 優秀な成績を出した家族を表彰

従業員のクラブ活動(野球部、テニス部、アウトドアクラブ)に対して補助金を支給し、その活動を支援している。昨年は「コーポレートゲームズ関西」に3競技参加した。また、全国レベルのスポーツの大会で優秀な成績を残した家族を表彰している。日常においてはスニーカーデーの実施や階段利用の促進、労使共催でのボーリング大会開催など、従業員の健康増進にも注力している。



株式会社ゼットン



地域別のスポーツイベントの企画・参加や、 社員の健康づくりをサポート

毎年、外食駅伝(東京)など、社外スポーツイベントに参加。特に外食駅伝では6回連続で、企画実行企業の一員として参画し、不健康と思われがちな外食のイメージアップに努めている。

また、ライフスタイルの充実や健康的な生活を送ることを目的とした「大人の部活」を実施。ダイエットや筋力アップなど、社員自らの目標を設定。目標に向けて活動を行い、その活動状況を週次で開催される朝礼の場で報告。さらに、就業後の活動を通して、コミュニケーションを図っている。



株式会社セディナ



健康支援アプリによる 社会貢献型ウォーキングイベント

健康づくり支援アプリを活用し社会貢献型イベント『チャリティウォーク』を開催し、10,000歩につき5円を寄付としている。寄付先は東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会や日本赤十字など。

また、アプリを利用し健康診断データの還元、健康食事メニュー等各種健康情報の提供を行い、従業員の健診結果やその分析結果、健康行動のスタート・継続を後押ししている。



General Partners

株式会社 ゼネラルパートナーズ



アスリート採用、障害者スポーツ団体への協賛、 従業員のスポーツ関連支出の助成金制度

自社でスケート・ショートトラック、及びパラ競泳アスリートを雇用しトレーニングと業務の両立を支援するとともに、障害者アスリートの雇用支援事業を行っている。また、障害者スポーツ団体（日本障がい者サッカー連盟など）に協賛し、活動を支援。協賛団体主催のスポーツイベントには、従業員が積極的に参加している。さらに、従業員のスポーツ習慣促進のため、施設利用料などのスポーツ関連費の支出をサポートする助成金制度を導入している。



株式会社 セノン



スポーツを通して社員と地域の笑顔に貢献

社員の健康増進と団結力の向上を目的とし、ラジオ体操・野球大会・ボウリング大会の実施や部活動の支援を行っている。

また、スポーツを通じて地域コミュニティの貢献に発展すべく、東京ヤクルトスワローズ・名古屋グランパス・FC琉球の スポンサーや元プロ野球選手をスポーツコンシェルジュとして採用し、スポーツ少年団に無償でコーチング活動を行っている。



株式会社セレスポ



「する・観る・支える」角度からの スポーツ推進

「する」 社内クラブ活動の支援制度の導入
「観る」 陸上部所属選手の大会応援
「支える」 スポーツ大会へのボランティア参加

さまざまな角度からの推進に加え、見識を深めるきっかけとして、定期的にパラスポーツ体験会や啓発セミナーを開催している。



セントラル警備保障株式会社

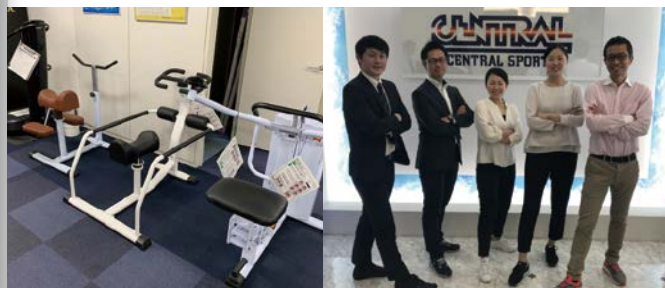


社員の健康維持、増進を図るため スポーツ活動を支援

毎日15時からラジオ体操で心身のリフレッシュを仕事の合間に行っている。また、会社主催の全社員参加のボウリング大会や全支社対抗野球大会を毎年開催して社員同士の融和を図っている。さらに、武道を中心とした部活動や社員のスポーツイベントへの参加支援も積極的に行っている。



セントラルスポーツ株式会社



スニーカー通勤制度の導入と オフィス内フィットネスマシンの設置

歩く習慣の定着による従業員の健康維持増進を促すため、スニーカー通勤を推奨。また、歩く習慣を更に定着させる施策として、スニーカーに合わせた動きやすい服装の着用を推奨するカジュアルデーを設定した。また、本社オフィス内にフィットネスマシンを設置し、全従業員ひとりひとりが自らの健康維持増進活動に積極的に取組める環境づくりを推進している。



株式会社ゼンリン



社員の一体感醸成および社会貢献のための スポーツ活動の支援

陸上競技部の選手を雇用するなどの支援活動を行っているほか、本社所在地の北九州活性化の一助として、プロサッカーチーム「ギラヴァンツ北九州」のスポンサーを行っている。

また、当社の所属選手が出場する試合の観戦や、協賛する大会・イベントへの参加を通じて、社員の一体感醸成を図っている。



双信商事株式会社



全社員参加による湘南藤沢市民マラソン出場と 社内スポーツイベントの開催

毎年、湘南藤沢市民マラソン(10マイル走)に全社員と同家族や取引先有志を呼び込んで出場し、レース後は親睦を深め自前の表彰式を実施している。また、健康増進、スポーツを楽しむための社内ゴルフ大会を開催し、日頃のスポーツトレーニング活用に提携スポーツ施設の利用を推奨し、利用費補助の支援をしている。



ソフトバンク株式会社



「健康経営」を掲げ社員の健康維持のための取り組みを推進

社員一人一人が心身共に健康で活力あふれる集団であることが最も大事な基盤であると考え、「健康経営」に取り組むことを宣言している。始業前の時間を活用し、プロのインストラクターによるヨガの実施や、社内に設置されているウェルネスセンターのヘルスキーパーを講師に迎え、ストレッチ教室など、運動の習慣化を促すイベントを開催し、社員やその家族の健康維持・増進に取り組む。



損保ジャパン日本興亜

損害保険ジャパン日本興亜株式会社



社内外のスポーツ支援 ~各種スポーツへの協賛・社内運動会の実施~

日本ホッケー協会とのトップパートナー契約や主に小学生を対象とする体験型のスポーツイベントである「SOMPOボールゲームフェスタ」への冠協賛などの各種協賛を通じて、スポーツ界への支援や、スポーツ普及、健康増進に向けた取り組みを行っている。また、社員の一体感醸成や健康増進を目的とした社内運動会の実施や、公式Facebookを活用した社内活動の取り組みの積極的な情報発信などにより、社内外問わずスポーツ普及の促進をしている。



損保ジャパン日本興亜ひまわり生命

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社



社内外で健康を応援する活動を推進

ウェアラブル端末を活用した部門間のウォーキング対抗戦やSOMPOホールディングスグループで、小学生を対象とした地域密着イベントを開催している。グリーンリボンランニングフェスティバルでは、ランニングを通じて、移植医療の啓蒙活動に取り組んでいる。また、お散歩アプリの「リンククロス アルク」の開発やクアオルト（ドイツ語で療養地の意味）プログラムによる健康増進活動を推進している。

一生のパートナー

第一生命

Dai-ichi Life Group

第一生命保険株式会社



「健康第一アプリ」「ヘルスケアポイント制度」 によるウォーキング支援を実施

健康で長生きすることが自分や家族の幸せにつながっていると考え、健康状態に合わせ、日々の健康をサポートする「健康第一アプリ」を開発、目標歩数を達成すると抽選でクーポンが当たるなど、楽しく継続できるようにサポートしている。また、会社と健康保険組合でコラボヘルスを推進、従業員には歩数に応じてポイントが貯まり健康グッズに交換できるヘルスケアポイント制度を導入、「Fun+Walk」やチャリティーウォークにも積極的に参加している。



株式会社第一テクノ



積極的に運動することを心がけ、毎日、 始業前にラジオ体操、午後3時にストレッチ体操を励行

社員全員が毎日、始業前にラジオ体操を、午後3時には館内放送される音楽に合わせてストレッチ体操を行っている。

館内を移動する際には、上へは2階まで、下へは3階まで階段を利用している。

社外においても、退社後や休日に運動できる環境整備として、スポーツクラブの法人会員となっている。

また、本社所在地である品川区が主宰する「団体deしな助」に登録し、区が主催するスポーツ関連イベントにも積極的に参加している。



株式会社ダイテックス



アスリートの社員雇用、競技支援

昨年度1名体制だったアスリート社員を、今年度より同じ競技のテコンドー選手2名（内1名はパラアスリート）採用した。3名の“テコンドーチーム”として各地域で開催されているテコンドー体験教室や、講演会など競技普及の為の活動している。

また、アスリートの競技を支援し、仕事と競技の両立を応援している。大会の応援や選手たちの日々の様子など積極的に社内外サイトにてPR活動をしている。



大東建設不動産株式会社



「クリケットのまち」を目指す昭島市における クリケットの普及活動の支援

世界では競技人口第2位ともいわれているスポーツ「クリケット」を昭島市の小中学校を中心に、クリケットを介して健康増進と国際交流の実施を支援している。



大東建託株式会社



スポーツ大会開催 / 全社一斉ラジオ体操や 通年のウォーキングラリーにて健康づくりを推進

春は全国各地でスポーツ大会、秋の社員旅行ではゴルフやカーリング体験、大運動会などを実施することで社員に運動機会を提供している。また、コミュニケーション促進イベントとして、建築現場ノーワークデーに野球大会を実施している支店があるほか、当社が支援しているアスリートとの交流を兼ねたテニスやサッカーイベントを実施している。その他にも創業以来、毎朝全社員1万人がラジオ体操を行い、健康保険組合との共同によるウォーキングラリーで運動促進と共に安全対策・健康増進に努めている。



大東建託パートナーズ株式会社



全社ラジオ体操とウォーキングラリー、アスリート支援プロジェクトを実践

創業以来、毎朝、全社約4000人が営業所ごとにラジオ体操を実施している。また、健康保険組合・グループ会社と共同でウォーキングラリーを実施することにより、運動促進と共に安全対策・健康増進に努めている。

夢に向かい挑戦し続けるアスリートを採用し、目標達成に向けての支援プロジェクトを実践している。



大同生命保険株式会社



ウォーキングキャンペーンの開催

当社が独自開発した健康経営支援ツール「KENCO SUPPORT PROGRAM」を全従業員に提供しており、プログラムの一環として、歩数増加による運動の実践・健康増進を目的に、全従業員を対象としたウォーキングキャンペーンを年3回実施している。

集計された歩数に応じて「全国ランキングが表示される」「ランキングに応じたポイントがもらえる」など、楽しみながらウォーキングに取り組むことができるイベントとなっている。



大日本印刷株式会社



社内スポーツ大会の開催とウォーキングイベントの実施

社員とその家族の健康の確保と活力の醸成を推進することを目的に、総合体育祭（野球、ソフトボール、サッカー、フットサル、テニス、バレーボール、駅伝の各競技と、部門対抗の運動会）、駅伝大会、野球大会を開催している。また、だれでも気軽に参加できるよう3～10km前後の複数のコースを用意し、各地の名所や公園等の散策を楽しみながら歩いて回るウォーキングイベントを実施している。



太陽生命

太陽生命保険株式会社



クアオルト健康ウォーキングによる健康寿命延伸への取り組みとスポーツ支援

クアオルト（健康保養地）健康ウォーキングを活用した健康増進プログラムに従業員が参加し、健康づくりを行っているほか、「太陽生命クアオルト健康ウォーキングアワード」を開催し、日本全国へクアオルト健康ウォーキングを普及している。

また、競技環境の整備と普及・青少年の健全な育成を目的に、女子スポーツ（ラグビー、アイスホッケー）に協賛している。



株式会社タクト・マシン・サービス



NIPPON IT チャリティ駅伝、その他のスポーツイベントへの積極的な参加

スポーツイベントへの参加を通じて社員の健康維持を図り、社内でのコミュニケーションを円滑にすることを目的として、全国各地で開催されているスポーツイベントへの積極的な参加を推進している。首都圏では毎年NIPPON IT チャリティ駅伝へ参加しており、今後も継続して参加を予定している。



株式会社立飛ホールディングス



アリーナ立川立飛及びタチヒビーチ等を拠点とするスポーツチームへの協賛・支援

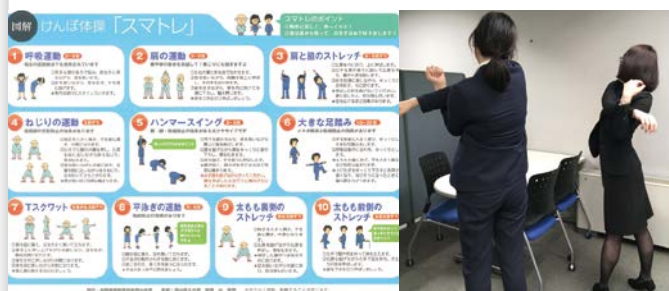
アリーナ立川立飛やタチヒビーチを拠点とするスポーツチームへの協賛やスポンサードゲームの開催等、地域スポーツの振興に取り組んでいる。

また、毎年3月に開催される「立川シティハーフマラソン」の特別協賛企業として、ハーフマラソンへの出場や大会ボランティアにも積極的に参加している。



タツミ産業株式会社

タツミ産業株式会社



毎週水曜日の出社時に階段(3階)を利用促進 & 毎日15時に社内でストレッチ体操を実施

昨年同様、本部・関東事業部・家庭用品部が職場である全従業員が対象。毎週水曜日の出社時に事務所フロアである3階まで階段を使って出勤する。また、全場所全従業員対象で協会けんぽ岡山支部が推奨するストレッチ体操を毎日15時に5分間実施する。社長自らが率先垂範し、社員のスポーツ推進活動への理解と健康向上を目的に活動している。



TANAKA

TANAKA ホールディングス株式会社



障害者スポーツおよびパラアスリートの 応援・支援

従業員やその家族による、障害者スポーツ大会の応援観戦やボランティア活動を行っている。そのほか、従業員を対象にした健康促進大会(運動会)において、障害者スポーツへの理解を深めるための参加者全員による障害者スポーツ体験プログラムを実施している。



株式会社丹青社



アスリートの雇用、スポーツ及び 障害者スポーツの普及を支援する取組の実施

当社社員である女子7人制ラグビー・原仁以奈(はら にいな)選手の現所属チーム・PEARLS(パールズ)のオフィシャルスポンサー兼オフィシャルパートナーとして全社的な支援をするとともに、社員対象の応援ツアーを実施。また、多様性への理解と共生社会の実現に資する取組として実施しているイベント「ユニバーサルキャンプ TOKYO」において、ブラインドサッカー体験、ボッチャ体験等を採用。



株式会社 ChannelJ



ご当地体操でたのしい健康づくり!

午後3時より、全国各地のご当地体操を行っている。場所は会議室で、インターネット配信されている動画を利用する。マンネリ化しないよう体操は毎週変えている。また、全社員が参加する休日ウォーキングを年2回行うほか、休日の目標歩数を一日5,000歩以上とし、自己申告する決まりを設けている。



すべての革新は患者さんのために

中外製薬

Roche ロシュ グループ

中外製薬株式会社



障害者アスリートの雇用及び従業員の スポーツボランティア機会の提供

障害者アスリートの就労支援の機会を提供することを目的として、障害者アスリート雇用制度を設け、選手の雇用を実施した。

車椅子ソフトボールやチェアスキー等の障害者スポーツイベントの支援を行うとともに、従業員がこれらイベントにボランティアとして参加し、運営のサポートを行っている。また、従業員がボランティアに参加しやすいような環境づくりとして休暇制度の整備を図った。障害者スポーツの魅力を発信することを目的としてWEBや冊子での発信も実施している。

通信機器産業健康保険組合



毎朝のラジオ体操、ウォーキングイベント、 ボウリング大会等の実施

健康保険組合として加入員の健康を維持・増進する上で、まず職員自らが健康であるべきという考えから、健康経営のひとつとして運動習慣の定着を掲げている。

毎朝のラジオ体操のほか、1日9,000歩を目標とした歩数表彰、また、職場から2~3kmの地点に目的地を設定し、就業後に徒歩で目的地を目指すウォーキングイベント「通さんぽ」の実施、ボウリング大会等を実施している。



株式会社つなひろワールド



社員で車椅子ソフトボール大会に参加、 障害者スポーツ大会への協賛

東京都を拠点とするTOKYO LEGEND FELLOWS チームに所属し、社員で車椅子ソフトボールの大会に参加している。東京で開催された国際大会では運営にも積極的に参加し大会を盛り上げた。

今年はウィルチェアラグビー、視覚障害者ボウリング、車いすソフトボールの大会に協賛し、障害者スポーツの促進にも力を入れている。



T&Dフィナンシャル生命

T&Dフィナンシャル生命保険株式会社



障害者スポーツ及び 従業員の社内クラブ活動を支援

日本ろう者サッカー協会とオフィシャルパートナー協定を締結し、ろう者サッカー・フットサルの発展と普及をサポートしているほか、障害者アスリートを雇用し、競技活動を支援するとともに、従業員の障害者スポーツへの理解促進を図っている。

また、社内クラブ活動にかかる費用の一部を補助するなど、従業員の健康増進を図っている。



帝人株式会社



従業員のスポーツ活動を推進

国内の主要拠点で、始業前や昼食後、15時のタイミングなどで、ラジオ体操の音楽を流し、ラジオ体操を推進している。毎年、秋には、グループ会社も含めてのウォーキング大会も継続して実施している。また、資金面の補助、施設の提供等を行い従業員のスポーツクラブ活動を積極的に支援している。



株式会社ティップネス



従業員のスポーツ活動支援として社内クラブ活動の推進及び 本社従業員による朝礼時の体操実施

従業員間のコミュニケーションが円滑に図れるような活動が必要だと考え、職位や雇用形態に関わらず13名以上のメンバーが集まれば社内の部活動と認定し、活動費の補助を行っている。

また、フィットネスクラブを運営する企業でありながら本社勤務の従業員は運動不足になりがちのため、朝礼時に各部署の担当者が持ち回りで店舗で実施しているプログラムの抜粋版や腰痛・肩こり予防、呼吸法など毎回異なる体操を紹介し全員で実施している。



デサントジャパン株式会社



元トップアスリートによるレベルの高いスポーツ指導や 楽しい体験を全国の子供たちに提供

全国の小学校で授業の一環として体操を指導する運動教室「すこやかキッズスポーツ塾」を実施。スポーツをする機会が減り、体力・運動能力が低下傾向にある現代の児童に「スポーツを好きになり、体を動かす習慣を身につけてもらう」ことを目指している。

また、豊島区及び目白地域の学校や企業などと連携し、「目白ロードレース」を開催しており、特別支援学校の生徒等の招待も行っている。



テルモ株式会社



CSR 活動イベントにウォーキングを取入れ、 社員とその家族に参加を奨励

従来より歩いた歩数をWEBサイトに入力し、画面上で果物を育てると本物の果物が自宅に届く「WEBウォーキング」を毎年実施している。

また、最近では、地域とともに実施している植林を始めとした森づくり活動に、午後のアクティビティとして森林ウォーキングを取入れ、初級・中級の2コースを用意し、活動に参加した社員とその家族が健康のために歩く企画を開催した。



株式会社 電通



ウェアラブルデバイスによる 適切な睡眠・運動の習慣化を促進

社員自身に現状の睡眠・運動の状況を客観的に把握してもらい、改善に向けた行動を促している。部署対抗歩数レースや、富士登山といった社の行事と連携した歩数レースなど、「チーム」で楽しめる企画を定期開催。社員同士のコミュニケーションを活性化しながら定着利用を図っている。



株式会社 電通パブリックリレーションズ



定期的なメディアフォーラムの開催やパラリンピアン雇用による パラスポーツの社会的価値の向上支援、及び社員の意識・行動改革

パラリンピアンへの活動支援及び引退後の公職活動をサポート等、パラリンピアンへのセカンドキャリア形成と、アスリートの価値向上に努めている。また、パラスポーツに関するメディアフォーラムを定期開催することで、競技団体とメディアの関係強化を支援し、パラスポーツの普及・発展に貢献。社員向けには、スポーツ活動支援制度のほか、朝ラジオ体操、パラスポーツ体験会、職場対抗ボウリング大会などを実施している。



東亜ディーケーケー株式会社



社員のスポーツ活動支援及び 階段利用の促進

テニス部、サッカー部、野球部、水泳部、スキー部といった部活動に補助金を支給し社員のスポーツ活動を支援している。各部には幅広い年代の社員が参加しており、部門の垣根を越えた交流の場にもなっている。

また、生活習慣病予防に向けた運動不足解消の取り組みとして、本社および事業所の各階に階段利用による消費カロリーを表示したポスターを掲示している。



東亜道路工業株式会社

東亜道路工業株式会社



ウォーキング大会の実施

社員と家族の心と身体の健康を促進し、活力寿命の延伸を目的として、ウォーキング大会を毎年秋に実施している。

万歩計を参加者に配布して1日1万歩以上、61日間で61万歩以上を目標とし、目標達成者には記念品を贈呈することで参加の促進をしている。



東急スポーツシステム株式会社



社内 & グループ会社従業員参加のフットサル大会開催 地域児童の勇気と自信を育むカナツチゼロ運動

社内従業員、各グループ会社の従業員が気軽に参加できる自社施設を活用したフットサル大会を毎年実施している。

また、自社展開しているスイミングスクールの近隣にある小学校と提携し、子どもの能力開発、水難事故防止、取り組み意欲向上を目的に、夏季に行われている水泳授業へコーチを派遣しサポートを実施している。



株式会社東京アスレティッククラブ



「中野ランニングフェスタ」への協賛・出場 及び運営ボランティアとして参加

2014年から開催している「中野ランニングフェスタ」に、大会当日のコース設営、ゲストアテンド、イベントブース出展等の運営ボランティアだけではなく、イベント全体のディレクションとして、実行委員会や後援、協力先との調整やイベント本体の企画・運営に携わっている。また、申込受付期間中は社内に事務局を設置しエントリーの管理も実施している。



東京海上日動

東京海上日動火災保険株式会社



障害者スポーツ支援 ～「知る」「見る」「体験する」～

障害者スポーツを「知る」「見る」「体験する」ことを通じて、世界中のパラアスリートの挑戦を応援している。職場で声を掛け合い、大会の観戦を全国のグループ会社にも広めている。平成30年は名古屋で開催された「スペシャルオリンピック日本 夏季ナショナルゲーム・愛知大会」において、3日間で130名を超えるボランティアを派遣しアスリートを支え、参加者はアスリートから「元気」をたくさんいただいた。



エネルギー・フロンティア
TOKYO GAS

東京ガス株式会社



障害者スポーツ支援のための取り組み・観戦 DAY の 実施とスポーツ体験パッケージキットの貸し出し

より多くの人に障害者スポーツを身近に感じてもらうために「障がい者スポーツ観戦応援DAY」を実施。2018年度は車いすバスケット・ウィルチェアラグビー等5種目の大会を観戦DAYとして、社員とその家族が観戦・応援を行っている。また、障害者スポーツの体験ができる「パラスポ競技体験パッケージキット」を用意し、行政や地域イベントなどで職場での大会時等でも活用している。

様々なかたちで、実際に「見て、体験」をする機会を設け障害者スポーツの普及・理解促進につなげている。



東急電鉄

東京急行電鉄株式会社



運動習慣化に向けて WalkBiz(ウォークビズ) スタイルや社内体操の推進強化

2018年度より、年間を通じて自身の職務・環境に合わせたスタイルを自ら選択する「スマート・チョイス」を社内でも推進している。創造性発揮や業務の効率化を考え、従業員が主体的に働き方を選択することを目的とする。

場所・時間・服装・リフレッシュ4つの観点からスマート・チョイスを推進しており、服装の観点から「WalkBiz(ウォークビズ)スタイル」による日常的なウォーキングの推進を、リフレッシュの観点から「社内体操」の推進を強化し、従業員が参加できるスポーツ企画の選択肢の拡充も進めている。



東京システムハウス株式会社

東京システムハウス株式会社



社内スポーツイベント「TSH感謝祭」の開催

平成30年9月、社内企画の懇親スポーツイベント「TSH感謝祭」を開催、従業員とその家族も含め100名以上が参加した。

障害物競走や大玉運び、リレーといった「運動会」で行われるような競技を中心としつつ、時にクイズ大会なども交え、スポーツの習慣がある者もそうでない者も、体も頭も存分に動かして楽しめる催しとして企画。開催後の参加者アンケートでは9割超が「満足」と回答し、盛況のうちに終わった。



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

国立大学法人東京大学



大学で所有するスポーツ施設 (検見川総合運動場)の貸出

東京都と「TOKYOスポーツ施設サポーターズ事業」について協定を結び、大学が所有するスポーツ施設を都民に対し貸し出している。対象の施設は検見川総合運動場である。東京2020大会の実施に際し、逼迫することが懸念される都内のスポーツ施設利用状況の改善に貢献できればと考えている。



東京都職員共済組合



清瀬運動場のテニスコート及び 野球場を一般に開放

東京都職員共済組合が保有する清瀬運動場のテニスコートや野球場を広く一般の方に開放しており、運動場が所在する清瀬市のホームページに清瀬運動場について掲載していただいている。

また、近隣の保育園、幼稚園に芝生部分を開放し、天然芝の上を走り回る楽しさを味わってもらっている。



THSA

公益財団法人東京都予防医学協会



職員の健康維持向上及びコミュニケーション活性化 を目指したスポーツ活動の支援

健康運動指導士による各職場でのストレッチ教室を通し、正しいストレッチの推進をしている。他に、階段励行やスタンディングワークの体験、体力レベル測定会やウォーキングキャンペーンを実施した。ウォーキングキャンペーンでは、参加者にオリジナルネックストラップを配布、部署対抗でチームを作り、優秀チームの表彰及び平均歩数を社内HPにて掲載し、イベントが盛り上がるよう工夫している。



TOKYO DOME SPORTS

株式会社東京ドームスポーツ



障害者スポーツ教室の開催と 各種アスリートの雇用支援

日本バスケットボール選手会と連携し、障害児を対象に、様々なスポーツに挑戦する機会を提供し可能性を広げるきっかけをつくるとともに、選手と触れ合うことによって普段できない体験をしてもらい、「できること・好きなこと」を増やすことを目的に開催している。また、若い世代のアスリートを雇用支援することで、ささえるスポーツ・みるスポーツの実践とチームのオフィシャルサプライヤーやオフィシャルパートナーとしてもスポーツ振興に貢献している。



東武鉄道株式会社



少年野球・サッカー大会へのボランティアスタッフの派遣

2018年度で11年目を迎える東武鉄道杯は、(一財)東武博物館が主催する沿線地域における少年野球大会、少年サッカー大会であり、東武鉄道は2017年度までに延べ1万名を超えるボランティアスタッフを派遣し、会場準備や試合応援等を通じて、次世代を担う健やかな少年少女の成長を支援している。



株式会社トーシンパートナーズ



朝のラジオ体操実施、サッカー部・野球部の部活動、社員のスポーツ観戦実施

社員一人一人がいいきと健康に働くことを目的に、平成16年から朝のラジオ体操を実施をしている。

また、弊社の社員にはスポーツ好きな社員が多く、職場で働く仲間と一緒にスポーツを行いたいとの声が多く上がりサッカー部と野球部を設立。現在、様々な大会に出場している。

その他、支援しているスポーツチーム・団体の試合観戦を社員が行い、一丸となってスポーツチーム・団体の応援をしている。

あしたを、ちがう「まいにち」に。



TOTO株式会社



ラジオ体操やウォーキングイベント開催などスポーツ支援による社員の健康増進活動を推進中

毎朝始業時にラジオ体操を実施、1か月間の歩行距離を個人や部門ごとに競うウォーキングイベントを毎年開催、腰痛予防のための体操教室やヨガ教室を実施、など社員の健康増進のため、スポーツイベントを実施している。



ドコモ・ヘルスケア株式会社



「歩こうキャンペーン」やフィットネス講座で一人ひとりが健康に!

毎年2か月間に渡り開催している社内ウォーキングイベント「歩こうキャンペーン」を今年も開催し、普段の生活の中で少しでも多く歩くことの意識醸成を行った。さらに今年は「スニーカーDay」を設定しスニーカー通勤を推奨した他、プロのスポーツトレーナーによる「正しい歩き方講座」「筋力トレーニング講座」などのフィットネス講座を定期的に行い、体を動かすことの楽しさ、大切さを体感する機会を設けている。

TOPPAN

凸版印刷株式会社



自社スポーツ施設の地域 SC 等への提供 スポーツ専従社員の雇用と応援

自社の体育館を地域スポーツクラブやプロバスケットボールチームへ利用提供している。また、毎朝のラジオ体操や企業運動会、イントラ内での各運動部のホームページやブログ掲載、スポーツ専従社員の雇用と応援、スポーツ専従社員による地域小学校での講演会などを実施。

TOPPAN FORMS

トッパン・フォームズ株式会社



社内スポーツ大会の実施

従業員とその家族の健康増進と親睦を深めることを目的に、毎年社内で野球大会やフットサル大会を実施している。また、この大会を企画・運営する野球部やサッカー部を初めとする社内のクラブに対し、活動支援を行なうなどスポーツを通じて従業員とその家族の健康増進を推進している。

トヨタ東京カローラ

トヨタ東京カローラ株式会社



ショールーム内ポッチャコートを無料開放、 ボランティア積極参加でパラスポーツ推進に貢献

3店舗のショールーム内にポッチャコートを設置し、無料開放している。また約550名のサービス介助士有資格者が積極的にボランティア活動に参加し、パラスポーツの普及促進に貢献した。

毎朝のラジオ体操、ソフトボール大会、高尾山登山など従業員が気軽に参加出来る社内行事を定期的 to 実施することで、従業員の健康増進を図っている。

トヨタ東京販売ホールディングス株式会社

トヨタ東京販売ホールディングス株式会社



東京2020大会に向けた、 スポーツボランティアのスキルアップ向上の支援

東京の企業として、当社及びグループ会社が一丸となり、東京2020大会に多くのボランティアを参加させるための施策を講じ、スポーツボランティア等の活動に必要な知識・技術の習得を促進している。具体的にはサービス介助士資格取得費用の全額補助、スポーツボランティア育成講習会・研修会の開催、ボランティア休暇の新設を実施している。

トヨタ西東京カローラ

トヨタ西東京カローラ株式会社



スポーツを通じ積極的な社会貢献活動を展開し、地域社会の健康と次世代を担う子供達の健全な育成を応援

野球、フットサル、バスケットボール等の独自のイベントを開催することで、地域社会へ貢献をする。

また、多くの地域スポーツイベントにも協賛・参画・参加。

独自のイベントでは、車椅子バスケットやブラインドサッカー等の体験やデモンストレーションを行い、パラスポーツの認知度向上や理解を深める活動も展開。

スポーツ・子供・地域という言葉を一貫として積極的な社会貢献活動を展開し、地域の次世代を担う子供達の健全な育成を応援する。



ナガセケンコー株式会社



**軟式野球・ソフトテニス・ソフトボールを中心としたイベントへの協力
社内ポッチャ大会の開催と社員によるポッチャクラブの大会参加**

都内だけでなく、全国で行われている軟式野球・ソフトテニス・ソフトボールのイベントへ物品等の協賛を行い、大会の成功と競技の普及に協力している。

また、ポッチャの社内大会を実施して健康増進と社内コミュニケーション作りに取り組んでおり、社員有志によるポッチャクラブを創設し、都大会へ出場している。

NII Nasta

株式会社ナスタ



ラジオ体操やスポーツ大会への参加と活動支援

毎朝のラジオ体操実施による健康維持と安全操業を心がけている。

また、毎年行われている「コーポレートゲームズ東京」に参加し社員間のコミュニケーションとスポーツ活動を応援している。

(2018年:軟式野球・フットサルに参加)

さらに、ユニフォームをはじめ大会参加費や交通費の支援などを行っている。

ほかに、大会への協賛も行いスポーツ大会振興の支援も行っている。



NIKKEN SOGYO

日建総業 株式会社

日建総業株式会社

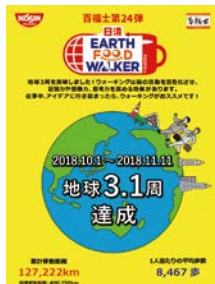


毎年1回、新宿中央公園において障害者スポーツ等の普及啓発イベント「ダイバーシティ・パーク in 新宿」の開催

障害者スポーツの魅力やパラアスリートの活動を従業員のみならず、多くの人々に認知してもらい、障害者スポーツの普及啓発に寄与するために、さまざまな障害者スポーツの体験コーナーを用意している。営利追及型の商業イベントではなく、ダイバーシティ追及のための啓発イベントとして、だれでも気軽に体験できるよう、原則的に入場料や利用料を無料化している。

運営には多くの社員(有志)が携わるほか、首都圏の学生・企業・個人などのボランティアが多数参加している。

日清食品ホールディングス株式会社



社員の健康増進と飢餓に苦しむ子どもたちへの支援をマッチングさせた「日清 EARTH FOOD WALKER プロジェクト」の実施

日清食品グループ従業員有志約400名が参加し、自身の健康と世界の飢餓問題解決のため1日9,000歩を目標に歩き、参加者全員の累計歩行距離で日清食品の創業者記念日である2019年3月5日までに地球10周を目指す。期間内に達成した場合、日清食品ホールディングスから国連の食糧支援機関である国連WFPに100万円を寄付し、途上国の学校給食支援に役立てる。



日通東京流通サービス株式会社



業務の間に簡単にできるストレッチや運動を実践・修得できるイベントを開催

毎日、簡単にできるストレッチや運動を修得するためにイベントを実施した。ミニボールを使用したストレッチは、デスクワークの合間にできるため、日常的に運動をするきっかけとなり、肩こり・腰痛予防につながっている。また、当社は子育て中の短時間勤務者が多い職場であり、参加率向上のため、開催時間は朝と夕方を外し、日中の時間帯にイベントを行っている。



日都産業株式会社



スポーツによる社員の健康づくりをサポート

毎朝の始業時にラジオ体操を継続して実施している。専門のラジオ体操指導者に依頼して、正しいラジオ体操の実施方法を指導してもらっている。

また、地域のランニングイベントへの参加を奨励し、家族も含めて駅伝チームを編成して参加したり、社内ゴルフコンペを開催し、運営面や費用面で支援を継続的に実施している。



商工組合 日本医療機器協会



会員企業の従業員の福利厚生の一環として、野球、ボウリング、フットサル大会を開催

昭和30年代より開催の野球大会は、トーナメント戦により試合を行う。優勝チームには、優勝旗・トロフィーの授与がある。ボウリング大会は、160名が参加し、団体・個人戦の順位を競う。フットサル大会は、会員企業に元Jリーガー選手が2名在籍しており、準備運動やルール説明、総当たり戦等、本格的かつ身近にフットサルを体験。また、「日本サッカー協会ヴァーチャルスタジアム」が会場となり、サッカーファンにとっても意義深い大会となっている。

世界的すきま発想。



日本化薬株式会社



従業員の健康づくりイベントを実施

毎日15時に各部署でのラジオ体操の実施や毎年2ヵ月の実施期間を設定し、従業員それぞれが、歩数1万歩／日を目指して、「歩く」を意識した「チャレンジ ウォーク」イベントを開催している。また、毎年、全国の事業場から従業員が参加するスポーツ大会は、野球、テニス、卓球、グラウンドゴルフなど、年齢層を限らない種目を取り入れて開催している。これらを通じて、社員が健康維持し、活力ある働き方ができるように取り組んでいる。



公益財団法人 日本ケアフィット共育機構



サービス介助士ボランティアによる スポーツ観戦環境のバリアフリー支援

Jリーグや、ウィルチェアーラグビー、ブラインドサッカーなどの各大会において、「サービス介助士」の資格を有するボランティアスタッフが常駐し、障害のある方への情報提供や案内誘導などの対応を行っている。ボランティアを勤務日として扱い、休暇を用意するなど、積極的にボランティア参加ができるよう体制を整備している。



日本交通株式会社赤羽営業所



営業所を挙げて全員がスポーツを身近にする環境作り、社員の健康は体操から始まる！

毎週水曜日、木曜日の6時からウォーキング&ラン教室の開催、ラジオ体操から始まり近くの浮間舟渡公園の周回コースを各自のペースで歩いたり走ったりと1時間動いている。週末は会議室を利用し卓球台2台を開放している。イベントは駅伝大会年2回、卓球大会年3回、ソフトボール大会年2回、ゴルフ大会は月1回開催、ジムも併設し身近に運動できる環境作りをしている。



日本シグマックス株式会社



社員の各種スポーツ活動を支援

スポーツを通じた社員同士のコミュニケーション促進と健康増進を目的に、スポーツ活動費を補助する制度や、自社の販売するスポーツケア・サポート製品の割引購入制度を設け、野球・バレーボール・サッカー（フットサル）・ランニング・ゴルフ等、社員による各種スポーツ活動を推奨・支援している。



公益財団法人日本スポーツ協会



“自からだを動かす”から日本に スポーツの素晴らしさを発信

“仕事でからだを動かす”をモットーに、効率の良い取り組みができるよう「スタンディングミーティング」を実施。職員の健康面にも配慮した取り組みとなっている。また、当協会が所有する会館内において、トレーニングのための器具保管・実施場所の提供や、シャワールームの開放を通じて、就業前後や昼休みなどにトレーニングやランニングに励む職員の活動を後押ししている。



日本生命

日本生命保険相互会社



地域のお客様と一体となった、 障害者スポーツ観戦・応援の輪の拡大

障害者スポーツ振興への取組として、役職員による観戦・応援を推奨しており、2015年度以降、約15,000名が参加した。

また、2017年4月より、(一社)日本車いすバスケットボール連盟のオフィシャルパートナーとなっており、協賛大会の開催地域においては、競技・魅力の認知、ファン拡大に向けて、当社職員による、お客様への観戦・応援の案内活動を行っている。(2018年度 約17万人)

We Find the Way



日本通運株式会社



自社スポーツ施設の大学等への利用提供

企業や大学などの各団体からの利用申請に基づき、本社ビルB1Fの武道場(柔道場、剣道場、相撲場)を利用提供している。また、自社の運動部との合同練習や交流試合なども実施しており、こうした取り組みを通じて、地域のスポーツ振興を図っている。



日本郵政

日本郵政株式会社



自社福利厚生施設の利用提供

近隣にお住まいの方などからの利用申請に基づき、自社の福利厚生施設である高井戸レクリエーションセンターの野球グラウンド、テニスコート及び弓道場を利用提供している。



日本郵船

日本郵船株式会社



チャリティ RUN+WALK(チャリ RUN)の実施

平成 30 年 9 月～ 11 月の 3 か月間、社員の健康増進と社会貢献活動を組み合わせたチャリティ・ランニング及びウォーキングを実施した。昨年は皇居外周のみを対象としたが、2 回目となる今回は対象を全国へ広げ、参加者は昨年の 3 倍近くとなった。プロのコーチによる走り方レッスンを開催するなどイベントを盛り上げ、参加費に参加者の走った総距離に応じた金額を会社が上乗せして「国境なき医師団日本」に寄付した。



一般財団法人

日本予防医学協会

一般財団法人日本予防医学協会



作業環境に応じたオリジナル体操「JPM アクティビティ」や各種イベントで組織活性化

全国の事業所にて全職員を対象として、仕事の内容や作業環境に応じて作成したオリジナル体操「JPM アクティビティ」を毎日実施。各部署から取組をすすめる「体操リーダー」を選出し、部署毎に実施しやすい時間を決めて行っている。導入前と導入後には運動機能テストを実施して、体操導入の効果を検証している。

また、運動+組織活性化を目的として、ストレッチイベントやウォークラリーなど各種運動イベントを定期的に開催している。



The New Otani

株式会社 ニュー・オータニ



スポーツ活動の奨励と支援。職場スタイルに合わせたインストラクターのストレッチ指導

年間を通し、7～8種類の部署対抗スポーツ大会や全国グループホテルを横断したウォーキングイベントへの参加奨励を実施している。また、クラブ活動費や大会出場費などの支援を行っている。ホテル業であるため、さまざまな部門が混在する中でレストラン部門、調理部門、宿泊部門など、仕事の特性上起こる肩痛・腰痛予防、ストレスの解消のセルフケアに有効なストレッチを当社フィットネスインストラクターが各職場に出向き、指導している。



ねづクリニック

ねづクリニック



日本ウォーキングサッカー協会のイベントへの従業員・患者の参加推奨と協力

平成29年7月に発足した、日本ウォーキングサッカー協会の顧問ドクターに就任したため、発達障害の方、二型糖尿病の患者の方、走ることはできなくても歩くことなら可能な気管支喘息の患者の方々をお連れして、休日や夜間に開催されるイベントに参加し、院長をはじめとしたスタッフも競技に参加し指導を行っている。

NetLearning®

株式会社ネットラーニング



元アスリートを社員として雇用し、競技団体業務の兼務を支援

元アスリートの本業とスポーツ競技団体スタッフとしての兼務や両立を支援している。具体的には就業時間中に競技団体の業務をや社外活動をする事を承認している。また、活動に対しての理解を深めるため、活動内容を社内ニュースで全社員にインフォメーションしたり、競技の体験会に社員が参加するなどの活動を実施。

あしたを、つなぐ ― 野村不動産グループ
野村不動産パートナーズ

野村不動産パートナーズ株式会社



障がい者アスリートの雇用及び障がい者スポーツの普及を支援

雇用アスリートの競技に関わる費用（遠征費、備品、消耗品、大会エントリー、トレーニング代等）を支援し、競技に集中できる勤務体系をとるなど、仕事と競技の両立を応援している。また、雇用アスリートを地域の陸上教室や小学校での公開授業、障がい者スポーツイベント等に派遣して、身近で障がい者アスリートと関わることで子供たちに障がい者スポーツを知ってもらう活動を行った。

MEGALOS

野村不動産ライフ&スポーツ株式会社



パラアスリート育成に向けた練習環境整備を推進

スポーツクラブ業界の中でも先駆けて川崎市と「パラアスリート育成における施設利用協定」を締結し、パラアスリートの練習環境整備に取り組んできた。また、次世代のアスリートの支援をさらに進めるため、東京ボッチャ協会とも同協定を締結。この協定に基づき、東京アスリート認定選手、日本ボッチャ協会強化指定および育成指定選手等を対象に、スポーツクラブ「メガロスクロス田端24」を練習場所として無償提供している。

NOMURA

野村ホールディングス株式会社



障害者アスリートの雇用及び情報発信等活動支援

イントラネット上に特設コーナーを設け、障害者スポーツ競技の紹介や大会情報を開示し、社員による積極的な観戦、競技体験を推進している。また、社員参加型の障害者スポーツ体験イベントを実施している。



パーソル キャリア

PERSOL

パーソルキャリア株式会社



コミュニティサイト「みんなの部活ー Cluboonー」をリリース、約 40 のスポーツ系部活が活動

社員の自主的なコミュニティ活動を促進しようと、コミュニティサイト「みんなの部活」を2018年2月に立ち上げた。サイト立ち上げをきっかけに、スポーツや文化など様々なテーマで社員同士がつながり合い、心身の健康向上に役立っている。

現在、のべ700名以上の社員が参加、100の部活動が登録。そのうち約44がスポーツ系で、フットサルや野球といったメジャースポーツから、eスポーツ部、シークンドー部(格闘技)などニッチなものまで、幅広いコミュニティが活動している。

株式会社HIEROPHANT

【エール】
YELL

株式会社 HIEROPHANT



弊社事業連携企業であるトレーニングジムでの、就業時間内におけるの週1回1時間程度のトレーニングの実施

デスクワーク中心の仕事に伴う運動不足になりがちな環境を解消するため、弊社が連携する企業にご協力いただき、従業員一人一人の目的に合わせた形で、パーソナルトレーニングを実施している。



株式会社バイタルエリア



プロサッカー選手志望者の積極的な新卒・第二新卒での採用

プロサッカーを目指して大学4年まで活動し、全国レベルのチームでレギュラークラスとして試合に出場し、プロになれなかった選手の積極的な新卒・第二新卒採用。

サッカー部×ITでの社会人としての成功を目指す取組を行っている。



長谷川体育施設株式会社



アスリートによる陸上教室、社員のスポーツ活動支援など、スポーツに親しむ機会を創出

陸上部に所属するアスリートの競技活動を積極的に支援。また、社会貢献活動として、自治体が主催する陸上教室や講演会へアスリートが講師として参加し、スポーツ交流を実施している。

さらに社員の健康管理や体力増進、社員同士の親睦を図るためにスポーツサークルの活動を支援するなど、スポーツに親しむ・参加する機会を設けている。



長谷工 コミュニティ

株式会社長谷工コミュニティ



フットサル部・野球部の運営支援 及びウォーキング推奨イベントの参加

フットサル部は、毎月、練習や交流試合を実施している。大会にも参加しており、今後更に活動の幅を広げていく予定。また、ウォーキング推奨イベントでは、各部署から4人1チームを選出し、一定期間のチームメンバー合計の歩数を競い、上位のチームへの景品、参加したチームへ抽選で景品を用意。長谷工グループ全体の取組となるが、長谷工コミュニティとして積極的な参加を促している。



P A S O N A

株式会社パソナグループ

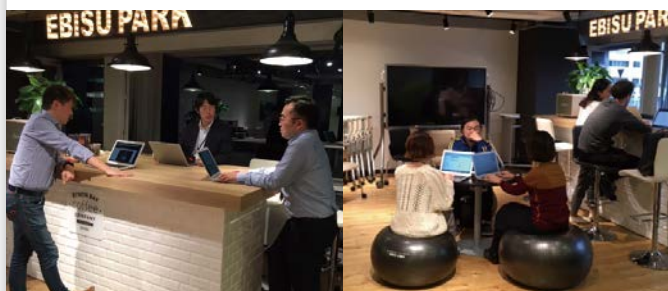


社内スポーツ大会の実施

パソナグループ各社の社員とその家族が、スポーツを通じて互いに知り合い、グループ内のコミュニケーションを促進するとともに、健康的な身体作りを意識する機会として「パソナグループ大運動会」を開催している。また、2016年からは兵庫県淡路島で年齢国籍を問わず誰もが参加できる「UNDOKAI World Cup」を開催するなど、地方創生と健康社会の実現を目指す取り組みにも注力している。



バリューアディッド・ジャパン株式会社



従業員向けにスポーツ活動の推進

始業時のラジオ体操の実施、スタンディングミーティングの実施や、ミーティングスペースの椅子をバランスボールに変更するなど、腰痛、肩こりの予防、運動不足の改善としての運動、体幹トレーニングを日々の勤務時間中に取り入れている。また、健康保険組合の提携するスポーツクラブの利用を促し運動機会を推奨している。



Value GROUP

株式会社バリュー・エージェント



社内でのストレッチ・階段利用推奨。 駅伝・トライアスロン大会への参加

朝礼時に各事業所でストレッチ、階段利用を推奨・実施した。また、週に1度皇居ラン&ウォーキングを実施するほか、企業対抗駅伝やトライアスロン大会にも参加し、スポーツ活動を通して社員の交流と健康向上を推進している。



株式会社ピーエスシー



健康維持増進、組織を超えたコミュニケーションの活性化を目的とし、全社運動会や各種スポーツ活動を実施

全社運動会（健康経営の一環で、社員の運動意識を高めることや、スポーツを通じた他部門とのコミュニケーションを図るために開催）、スポーツサークル活動（9種類のスポーツにて毎月1回活動を実施、ITS健康保険組合主催の大会に参加。）、PSC体操の実施（朝礼の際に、肩甲骨などの上半身のストレッチを中心とした独自の体操を約3分間にわたって実施。）を実施している。



株式会社ビジネス・ブレイン



ビジネス・ブレイン運動部の発足

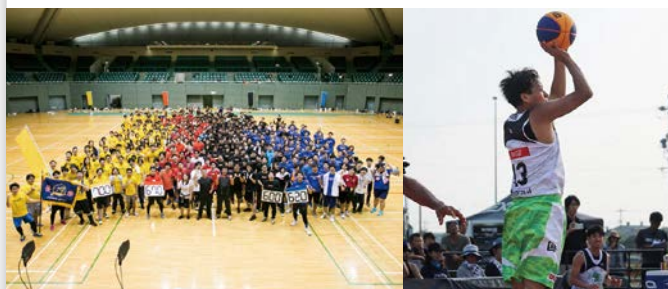
ビジネス・ブレイン運動部規程を制定し、参加費や交通費等を補助することにより運動部の活動を促進している。

ハーフマラソンの参加を皮切りに、今年度は新たにスキュー部が発足した。夏に向けて登山部やアスレチック部など定期的に身体を動かし、リフレッシュする活動を促進している。

また、複数の部に所属することが可能であり、社員のみならず、パートやインターン生も対象としている。



株式会社フィナンシャル・エージェンシー



部活動・サークル活動支援、社内プロ選手の活動支援のほか、大運動会開催などの取り組みを実施

2013年より、誰でもサークルや部活を立ち上げることが出来るアスリート制度を制定し、5つの部活が活動している。2018年にはバスケットボール3×3分野でプロデビューを果たした従業員もあり、活動支援として遠征費用等の支給、業務支援を行っている。同年の創業記念日には3回目となる大運動会を開催し、代表役員含む全国の従業員が参加した。さらに採用活動の一環として、学生向けにバスケット講習会を開催し、外部に向けた同制度の普及活動を行っている。



株式会社フォーイト



スポーツを通じ健康増進および社員同士のコミュニケーション活性化を実施

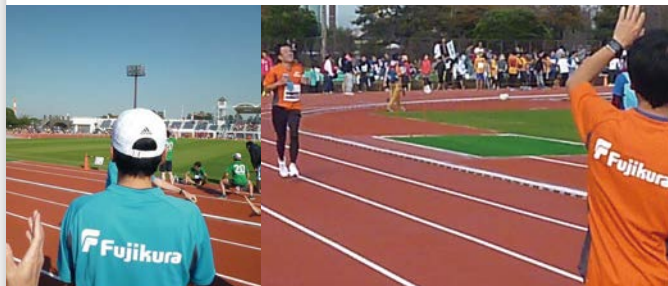
2018年は新たな部も発足し、計7種類の部活が日々活動している。

健康増進はもちろんのこと、部署の垣根を超えたコミュニケーションの活性化にも繋がっている。

また、全社員でのラジオ体操を毎朝実施しており、健康増進に向けて継続的に取り組んでいる。



株式会社 フジクラ



コーポレートゲームズ東京に参加

第一回から継続してコーポレートゲームズ東京に参加している。年々参加者数が増え、リレーマラソンとボーリングの2競技で40名を越える参加者数となった。コミュニケーションの活性の場として盛り上がっている。元陸上部の新人さんも楽しんで頂き、若手従業員の参加もリレーしていければと来年の参加も計画している。



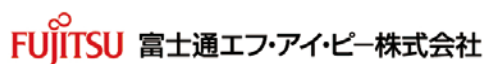
株式会社 フジサワ・コーポレーション



なでしこリーグチーム支援と環境保全の両立 及び多様なスポーツを通して社内の活性化

製造業を営む上で避けることができない端材を活用してステッカーを制作。スフィータ世田谷に提供し運営に役立ててもらっている。

また、軟式野球大会への参加や、フットサル、富士スピードウェイで行われるママチャリグランプリなど、社員の発案で気軽に参加できるスポーツイベントを実施している。Jリーグのシーズンチケットを取得し、スポーツを得意としない従業員にも観戦の楽しさや新たな刺激を受ける機会を設けている。



富士通エフ・アイ・ピー株式会社



階段利用の促進やVDT対策ストレッチ等、 気軽に取り組める健康づくりを推進

階段利用、VDT対策ストレッチ等、だれでも、いつでも気軽に取り組める活動を、社内啓発ポスターを作成、掲示し推進することで、社員一人ひとりの健康意識の向上を図っている。



富士ネットシステムズ株式会社



スポーツ活動の応援、アスリート及び指導者の 積極的な雇用の推進

アスリートの雇用に推進し採用後も、競技スポーツ活動への取組みを積極的に応援している。

練習日や指導日にはお客様の理解を得ながら、優先的にスポーツ活動へ参加できるよう職場環境の構築にも取り組んでいる。



株式会社 フラット・クラフト



カートを使わず全ホールを歩くゴルフコンペの主催や、組成したランニングチーム全員がフルマラソン完走を目指すランニングの実施

カートを使わずに18ホールを全部歩くゴルフコンペの実施や、ランニングチームを組成してユニフォーム作成し、チーム全員がフルマラソン完走を目指している。

また、階段利用の促進やスタンディングミーティング、スタンディングワークを実施しており、徒歩通勤、自転車通勤を推奨している。

終業後や休日には地元のスポーツイベントや企業運動会への参加をしている。



毎日、発明する会社

フリービット株式会社



スニーカー通勤しよう！



スニーカー通勤の推奨及び バランスボール会議室の設置

社員の健康維持・促進のため、スニーカー通勤を推奨しています。その他にも、椅子の代わりにバランスボールを配置した「バランスボール会議室」の設置や、腰痛の予防・解消のためのストレッチの方法の定期的な掲示等を通じ、社員が運動に取り組みやすい環境づくりを推進している。



ブリヂストンスポーツ株式会社



スポーツを通じて世の人々を健康・幸せにし、夢を提供

社員自らがスポーツを通じて健康づくりへ積極的に取り組む機会として、「スポーツ休暇制度」の導入、「健康的な会議室」の設置、「社員向け健康プログラム」の提供を行っている。

また、障がい者アスリートを雇用し、大会出場の支援・練習環境の提供や、萩野公介選手（ブリヂストン・アスリート・アンバサダー）を招いた水泳教室、プロゴルフトーナメント会場に近隣小中学校生徒を招き社会科見学を実施した。

ブリヂストン健康保険組合



毎日の歩数を個人やチームで楽しく競いながら記録するウォーキングキャンペーンの実施

1日の目標歩数を5000歩か8000歩で設定し、約2か月間毎日の歩数を記録する。その達成率や、コラム閲覧・クイズ回答などに応じてポイントが付与され、最終的なポイントで景品がもらえるキャンペーンを実施した。

Full Speed

株式会社フルスピード



スポーツを通じたコミュニケーションの活性化を目的に、サークル活動報告を社内報などを活用して周知

部活動を通して他部署間交流が盛んに行われており、男女問わず楽しんで参加している。社員が5名以上集まれば誰でもサークル活動申請が可能で、福利厚生として活動費用の補助も行っている。

現在は野球部など8つのサークルが終業後や週末などを使い積極的に活動している。



有限会社プレミナ



「目指せ月間 100 万歩!みんなで歩こうプロジェクト」の実施

1日1万歩、1ヶ月間でスタッフ合計100万歩を目標に、パソコン作業が多い事務局スタッフが積極的に体を動かす機会となるよう実施している。

主に通勤移動や階段の利用などに加え、業務中にも体を動かすなどこまめな運動を日々心がけている。月間目標達成で社長から報奨が出ることもモチベーションUPに繋がり、社内の円滑なコミュニケーションにも役立っている。



文化シヤッター

文化シヤッター株式会社



自社実業団チームによるスポーツ教室の開催やアスリートのセカンドキャリア支援

自治体と連携し、アルティメット自社実業団チーム「文化シヤッターBuzz Bullets」によるフライングディスク教室、アルティメット大会を実施するなど、次世代育成や障害者スポーツ支援を中心に活動を進めている。

また、アスリートのセカンドキャリア支援にも力を入れており、従業員として働く元アスリートは、営業部門で優秀セールス賞を受賞するなど、スポーツで培った経験を活かし活躍している。



平和不動産

平和不動産株式会社



職員スポーツクラブ活動への活動支援

当社グループ企業の職員およびその家族も参加できる社内スポーツクラブ活動(野球部、サッカー部)への活動支援(活動費の補助など)を通じて、職員および家族の健康増進およびコミュニケーション活性化を推進している。



株式会社ベネフィット・ワン



健康ポイントを活用したイベントや、 企業対抗スポーツ大会の実施

社員の健康意識や活力向上を目的として健康ポイントプログラムを活用し、歩数を競い合うウォーキングチャレンジを実施。野球やヨガ等、会社公式クラブの活動補助を行い、スポーツを通じた健康づくりを支援している。

また、自社サービス「ベネフィット・ステーション」の福利厚生会員向けに、企業対抗スポーツイベントを12年連続で実施。社内外問わずスポーツを通じた健康づくりに積極的に取り組んでいる。



株式会社ペンシル



徒歩や自転車によるエコ通勤の奨励、 さまざまなスポーツ部活動を推進・支援

従業員の健康増進の観点からエコ通勤を奨励し、通勤自転車購入補助制度の導入や法人自転車購入、駐輪場の賃貸契約、港区自転車シェアリング（レンタサイクル）の活用を促進し、国土交通省の「エコ通勤優良事業所」に認定されている。

また、ソフトボール、フットサル、テニス、ワークアウトなどさまざまなスポーツの部活動を実施。用具購入やグラウンド使用料の補助、SNSや社内報での紹介など部活動を積極的に推進・支援している。



株式会社ベンチャーバンク



社員のリフレッシュや運動機会創出のための 取組み&トップアスリートの活動を支援

朝活（瞑想）・夕活（ストレッチ体操）を毎日実施するほか、社員の運動機会創出を目的として、グループ社員およびその家族が参加するSPORTS FESTIVALや、就業時間内にグループ内のフィットネス等各種サービスを無料で利用できる制度を実施している。

また、トップアスリートの活動支援については、競技生活の他に、講演会やイベント・地域のスポーツ教室への派遣等を積極的に行っている。



株式会社ボディワークサービス



ランニングイベント（リレーマラソン、ハーフ・フルマラソン）の 出場、練習会の実施

毎月2回、定期的にランニング練習会を実施しており、お取引先様と一緒に皇居や荒川の河川敷を走り、大会での完走・自己記録更新を目標とし練習会を実施している。

また、スポーツクラブにも各自通い、ランニングやスタジオレッスン、筋力トレーニング等、各々のトレーニングも実施しており、施設利用料を会社が一部負担している。

年末にはグループ会社の主催するハーフマラソンや、2月には静岡マラソン、3月には東京マラソンに出場している。



株式会社 VOYAGE



意識しないで毎日健康・ウォーキング通勤の他、 始業時には VOYAGE ストレッチを実施

通勤時に、会社最寄り駅から一駅前までとし、会社まで地下街を歩く仕組みを導入している。ただし、営業等業務上は最寄り駅を使用している。また、始業時に独自のストレッチを実施している。更に、社内SNSを通し、ストレッチの方法等を紹介しあって効率よく取り組んでいる。



堀江車輛電装株式会社

堀江車輛電装株式会社



障害者と健常者の混成 フットサルチームの発足・運営

障がい者支援支援事業部を中心に、社内・取引企業の有志と障害者の混成フットサルチームを発足し、日々活動を継続している。社員に向けた障害理解の促進とともに、スポーツというコンテンツを通した障害理解の仕組みづくりの発信を目指している。



前田道路株式会社

前田道路株式会社 東京支店



始業時のラジオ体操の実施

毎朝の始業チャイムの後に「ラジオ体操第一」を流し、職場従業員全員でラジオ体操を実施している。各部署のリーダーが前に出て、他の従業員の体操時の様子を見ることにより、体調が優れない等の不調に気付くことが出来る。



Manulife

マニユライフ生命

マニユライフ生命保険株式会社



未来を切り拓くことを応援する健康増進イベントや アプリ「マニユライフウォーク」でウォーキングを推奨

健康増進と社会貢献を同時に行えるアプリ「マニユライフウォーク」の開発とその推進を継続的に社内外で展開。当社とスポンサーシップ契約を締結しているプロランナーの大迫傑選手のウェルネス関連の社会貢献イベントへの参加により社内外の健康促進に寄与している。



ミズノ株式会社



従業員のスポーツ実践奨励、 及び地域のスポーツ振興活動

社外スポーツイベントへの社員参加奨励や、弊社オリジナル体操の実施等を通じて、従業員のスポーツ実践を支援している。
加えて、第一線で活躍したアスリートOB/OGによる実技指導を行う「ミズノピクニッククリニック」等の活動を通じて、地域のスポーツ振興活動に取り組んでいる。



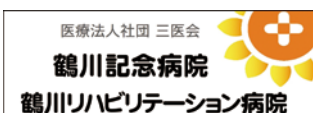
株式会社みずほフィナンシャルグループ



社内外においてスポーツの普及、推進に向けた 取組、またスポーツ団体の支援など幅広く実施

子供たちへのサッカー教室の開催、社員ボッチャ体験会、ジャパンパラ競技大会の団体観戦、運動部の活動支援等、社員とその家族へスポーツに触れ合う機会を積極的に設けている。

また、東京2020大会を始め、サッカー日本代表や日本障がい者スポーツ協会、全日本柔道連盟等の各種団体や、東京マラソン協賛など各種イベントの支援も実施している。



医療法人社団 三医会



毎週月曜朝のラジオ体操実施・ 職員へ運動活動支援・地域に向けた体操教室実施

毎週月曜日の全体朝礼前にラジオ体操を実施、自宅または最寄の駅から徒歩自転車など通勤を推進している。フットサル・バドミントン・卓球など職員スポーツ活動を支援。フットサルは年に1度行われるコーポレートゲームズへ参加している。

地域のスポーツ団体(町田市少年サッカーチームやJリーグチーム)への広告支援をしている。また、地域の皆様へ向けた膝や腰痛の体操教室を行っている。



三井化学株式会社



運動量等によって得られるマイルを貯める ヘルシーマイレージ合戦!

運動等によりポイントを獲得し、チームまたは個人で競いあう社内スポーツを実施している。スマホアプリからも登録・利用が可能で、日々の生活やイベントへの参加で獲得したポイントが様々な健康グッズと交換できるなど、参加のしやすさ、継続して楽しめる点が、社員の健康意識の向上に寄与している。



すまいとくらしの未来へ

三井不動産レジデンシャル

三井不動産レジデンシャル株式会社



誰もが参加できる マルチスポーツフェスティバルの開催

東京湾岸(中央区・江東区)を中心としたエリアを舞台に、健常者と障がい者を区別せず、だれもが参加できる大会として、【スポーツ普及率の向上】【パラ・デフスポーツの支援】【SDGsへの取組み】を目的にザ・コーポレートゲームズ東京の企画ならびに運営をしている。



三菱ケミカルホールディングス

株式会社三菱ケミカルホールディングス



職場における安全、日常生活の 健康維持を目的にKAITEKI体操を実施

作業や日常生活における姿勢不良や身体的負荷の改善・軽減、加齢や運動不足から生じる柔軟性・筋力・平衡能力低下の予防のために、5分程度で実施できる「KAITEKI体操」を開発、各職場にて就業時間内に実施している。体操の効果と正しい動きを理解すると、身体への効果もあらわれやすいため、「KAITEKI体操」を構成する9の体操の狙いを社内ポータルサイトにて解説も行っている。



MITSUBISHI
ELECTRIC

Changes for the Better

三菱電機株式会社



障害者スポーツ普及と共生社会の理解促進プロジェクト 「三菱電機 Going Up キャンペーン」の展開

車いすバスケットボールを中心とした障害者スポーツの体験イベント「三菱電機 Going Up キャンペーン 全国キャラバン」を、平成28年度から全国で展開し、都内の10回をはじめ、25都道府県で実施した。平成30年度からは、都内小学校向け車いすバスケットボールの体験授業として「三菱電機 Going Up キャンペーン for school」の展開も開始、22校で実施した。

(※実績は平成31年2月末時点)

Murauchi.com

株式会社ムラウチドットコム



スポーツイベントへの参加など全社で スポーツを奨励してブログで共有

スポーツメディア「スポリート」の運営やスポーツ用品販売などからも全社的にスポーツ奨励の土壌ができています。朝礼での体操時間の設定やスポーツイベントの参加や応援など、定期的に身体を動かす機会を提案している。また、その体験を自社運営ブログサービス「にほんブログ村」や「ムラゴン」にて社員が自由に発信できる環境を作っている。



公益財団法人明治安田厚生事業団



仕事の中に「スポーツ」を取り入れる！ ワークスタイルのスポーツ化

座りすぎ解消のための「1分間ランニング」や、相手のところまで歩いていく「ノー内線デー」、スタンディングミーティング、事務室からトイレに向かう通路を活用した早足運動などを実施している。

忙しいビジネスパーソンの健康づくりのカギは、「仕事の中で、少しでも体を動かすこと」と考え、ワークスタイルのスポーツ化を推進している。



明和地所株式会社



社内に社員用トレーニングジムを完備 年に1度、グループ会社全体が参加する運動会を実施

グループ会社も含めた従業員の健康と活力の増進を図ることを目的に、社内に設置したトレーニングジムを開放している。また、月に数回程度、外部講師によるヨガ・ストレッチなどのフィットネスプログラムを実施している。

年に一度開催される「運動会」は、スポーツを通じて部門やグループ会社間のコミュニケーションを促進し、一体感や団結力の醸成と健康を意識する機会となっている。



株式会社メディカルネット



モットーは文武両道！部活動を奨励し、 仕事もスポーツも真剣に楽しむ環境を整備

皇居ラン部は、月1回実施、誰でも参加可能で毎回5~20名が参加。1周約5kmの皇居の外周を走る。他社を交えた懇親会もあり、スポーツを通じた交流の場になっている。また、駅伝部は、年2回程度大会を実施。誰でも参加可能で毎回30~40名が参加。1周約5kmの皇居の外周を1周ずつ4名でタスキをつなぐ。フットサル部は、IT健康保険組合主催のイベントやITフットサルリーグの大会に参加している。



株式会社モリサワ



社内スポーツ活動の支援による健康促進と 障害者スポーツの体験

従業員が行うスポーツ活動の支援や健康促進のため、社内フットサルチームの活動支援、トレーニング指導に関わる有資格者、インストラクター経験者によるフィットネスプログラムなどを実施している。また、2015年1月より公益財団法人日本障がい者スポーツ協会をオフィシャルパートナーとして協賛している。競技大会の応援だけでなく、障害者スポーツの体験会を通して、障害とスポーツへの理解を深めている。



株式会社 YAZ



運動会、部活動支援、 歩数ポイント制度の導入

全社員参加型の運動会の開催や、部活動（野球部、雪部、トレッキング部、カート部など）への支援を中心に、歩数ポイント制度の導入など、日々の生活習慣の中に運動を取り込むための様々な施策を進めている。

業界全体にアクティブで健康的なエンジニアを増やすことを目的として、他社との交流試合や、共同イベントなどを積極的に開催している。



ヤスマ株式会社



健康経営優良法人として、社員の健康維持・ 増進の為に積極的にスポーツイベントを実施

「社員の健康は会社が守る」の思いから、健康経営優良法人として社員の健康維持・増進に取り組んできた。まず取り組んだのがラジオ体操である。毎朝始業前に全事業所で実施しており、5年以上定着している。現在は、ヨガ教室の開催（月1回社内で行う）、ボウリング大会、フットサル部の活動支援を行う一方、所属団体のスポーツイベント（フットサル大会、ポッチャ大会）にも積極的に参加し、社員のスポーツ参加意欲の向上を図っている。



ヤフー株式会社



スポーツ支援を通じた、 「UPDATE コンディション」の実現

2013年から東日本大震災の復興支援を目的とした自転車イベント「ツール・ド・東北」を株式会社河北新報社とともに主催。パラスリートを雇用しスポーツ選手としての活動と業務において努力し、夢に挑戦することを応援している。

全社員に歩数を確認できるスマートフォンを貸与し、社内ポスターを活用して男性9000歩、女性8500歩を推奨。運動を含め、さまざまなジャンルの社内クラブ・同好会の活動を支援している。



株式会社大和屋ふとん



毎年11月に行われるコーポレートゲームズに参加し、 サッカーのスポーツ観戦を推奨しチケットを従業員に配布

毎年実施されているコーポレートゲームズやマラソンイベントに参加しており、それに向け日々、マラソンやウォーキングを行い、トレーニングを行うことで、健康推進を心掛けている。

また、社でサッカーのチケットを定期的に購入し、従業員やその家族に配布することで、スポーツ観戦に親しんでもらうとともにストレスの解消にも役立ててもらっている。



ヤマトロジスティクス株式会社



朝礼時の体操、ウォーキングイベント、グループ 対抗野球大会参加等にて運動の習慣化を推進

健保と連携しアプリを利用、社員を対象とした一定期間内の歩数を競うイベントを年に数回開催。個人戦で社員の運動習慣化を図ると共にチーム戦で社員同士のコミュニケーションの促進を図っている。

また、朝昼礼時の体操・グループ対抗野球大会・皇居ランイベント・都内のウォーキングイベントなど社員の運動習慣化に向けた取組を実施している。



山本光学株式会社



階段利用の促進と始業前のラジオ体操の実施 による健康促進、会社公認水泳部の活躍

階段利用を励行しており、各事業所の階段の目につきやすい場所に手作りのポスターを掲示し、階段利用促進に取り組んでいる。特に本社(6階建て)においては、3フロア以内の昇り降りは原則歩くよう励行しており、東京支店(8階に入居)でも階段をできるだけ使用するように奨励している。また、各事業所では始業前のラジオ体操を毎日実施して健康増進を図っている。また、会社公認の水泳部は実業団水泳競技会で各種入賞している。



株式会社 ユカ



各支店対抗の野球大会・フットサル大会の実施

各支店が参加する野球大会やフットサル大会を実施している。

この取組を通じて、社員の健康増進、スポーツ推進はもとより、コミュニケーションの円滑化を図っている。

各支店の対抗戦なので、支店の仲間との絆が深まり、普段話す事のない他支店の人とのコミュニケーションも取れる。



ユニファースト株式会社

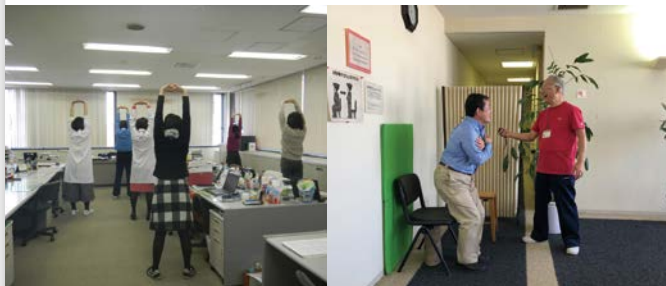


ホノルル駅伝大会への参加

2018年5月に開催された、ハワイ・ホノルル駅伝に参加した。走者は旅行費を含む費用は全額会社負担とすることで、多くの社員の興味を持たせた。部署間を超えた交流もでき、社内コミュニケーションが活発になるなど、大きな効果があり、健康意識の向上にもつながった。

YOKOGAWA ◆

横河電機株式会社



運動習慣の改善を促す「健康開発」、 隙間時間に体を動かすオフィスポを展開

業務の隙間時間に体操やストレッチなどで体を動かすオフィスポを職場や個人単位で実施。また、健康保険組合とのコラボレーションによりウォーキングを推奨している。全社員が就業時間に行う「健康開発」では、身体・体力を測定するだけでなく、直近一週間のウォーキング状況や、過去の健康診断の結果を参照し、医師による健康・運動指導を実施。運動習慣の動機付けや改善を推進している。



YOKOGAWA
横河レンタル・リース株式会社
Yokogawa Rental & Lease Corporation

横河レンタ・リース株式会社



アスリート雇用とスポーツを通じた 社会貢献活動

ラグビー・バレーボール・バスケットボールをしている11名の現役アスリートを雇用しており、大会出場時には社内報やSNSなどで情報共有し、社内全体で応援できるようにしている。ラグビーにおいては、オフィシャルパートナーとしてもスポーツの振興に貢献。また、社内で参加者を募り、コーポレートゲームズやオリパラプロジェクトのボランティア活動等のイベントに参加。スポーツを通して社員同士はもちろん、地域社会と交流を図っている。



株式会社 ヨネイ

株式会社ヨネイ



スポーツ奨励金の導入や社内ウォーキング カップの開催

社員の健康増進を目的に、各種スポーツや運動にかかる費用を会社が補助するスポーツ奨励金を新たに導入した。これをきっかけに、スポーツジム・フィットネスクラブに通う人や、ゴルフ・テニス・ランニング・スキー・登山などのスポーツに親しむ人が増えている。社員参加型のウォーキングカップでは1日8000歩を目標に楽しい競争が生まれ、上位者には健康グッズなどの賞品を贈呈した。

YOMIKO

株式会社 読売広告社



企業対抗のスポーツ大会に5年連続の参加 及び社内運動部活動の支援

企業対抗スポーツ大会である『ザ・コーポレートゲームズ東京』に読売広告社グループとして、5年連続で参加している。今年も約230名の社員がリレーマラソンをはじめ、様々な競技に挑戦し、社員間のコミュニケーションをさらに深めることができた。

また、野球部やテニス部、トライアスロン部などの社内運動部5団体に、活動補助金を提供し、業務だけではないスポーツを通じた社内交流を推進している。



ライトウェイプロダクツジャパン株式会社



自転車通勤を全力で応援

毎日の通勤で自転車を積極的に利用したくなる自転車通勤利用制度を創設した。

経済的サポート:自転車通勤の特別補助、賠償保険の加入補助、自転車通勤に必要な消耗品の購入補助。

安全面サポート:定期的な安全利用の講習実施。安全な利用のためのハンドブック作成。



リーフラス株式会社



毎朝の本社社員による会社周辺清掃を兼ねたウォーキングを実施

現場の社員と比べると運動の機会が少ない本社の社員は、健康増進のため、毎朝、会社周辺の清掃を兼ねてウォーキングを実施している。毎朝行うことで運動習慣を身につけることができ、普段の生活の中でも階段を利用するなど、運動のきっかけをつくっている。また、社員同士のコミュニケーションの場にもなっている。



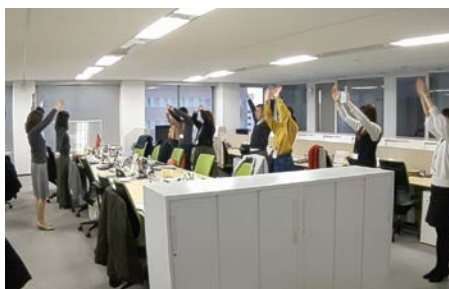
Link to Good Living

株式会社 LIXIL

健康増進「LIXILウォーキングラリー」

健康増進を目的として、毎朝、会社周辺の清掃を兼ねてウォーキングを実施している。毎朝行うことで運動習慣を身につけることができ、普段の生活の中でも階段を利用するなど、運動のきっかけをつくっている。また、社員同士のコミュニケーションの場にもなっている。

毎朝、全社でラジオ体操を実施している。また、年2回全従業員を対象としたウォーキングイベント「LIXILウォーキングラリー」を開催している。専用サイトを設け、参加者同士のコミュニケーションの場とするとともに、部署別対抗や個人戦としてランク付けし競い合うなど、楽しみながら体を動かす習慣をつける取組を推進している。また、「正しいウォーキング」など運動関連メニューを取り入れた外部講師による教育を実施している。

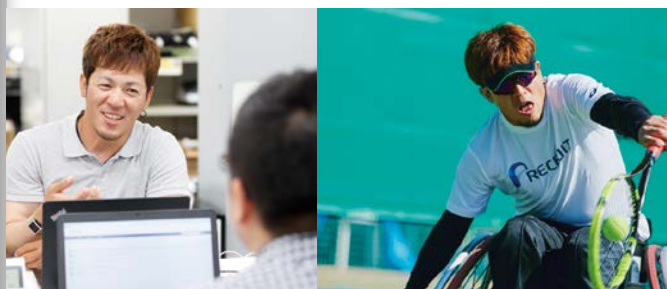


ラジオ体操や全社ウォーキングイベントなど運動習慣の推進や、運動関連の教育実施

毎朝、全社でラジオ体操を実施している。また、年2回全従業員を対象としたウォーキングイベント「LIXILウォーキングラリー」を開催している。専用サイトを設け、参加者同士のコミュニケーションの場とするとともに、部署別対抗や個人戦としてランク付けし競い合うなど、楽しみながら体を動かす習慣をつける取組を推進している。また、「正しいウォーキング」など運動関連メニューを取り入れた外部講師による教育を実施している。



株式会社リクルートオフィスサポート



従業員のアスリート活動を、時間と金銭面で支援

東京2020パラリンピック競技大会出場を目指しアスリート活動に取り組む従業員に対して「アスリート支援制度」を設けている。

出場可能性や戦績など一定の条件をみたせば、練習時間確保のための勤務時間調整や業務調整、大会参加費や遠征費の支給などを行う。

また、近隣で試合があるときは、広報のかけ声のもと従業員で応援団を組み観戦している。



Linking your dreams
リンテック株式会社

リンテック株式会社



板橋区と連携しスポーツを通じて区民と交流

本社がある板橋区と連携し、区内の障害者と少年野球チームを東京ドームのプロ野球観戦に招待している。

さらに、同区が推進している「スポーツで笑顔が輝くまちへ」の施策に賛同して板橋Cityマラソンなどに協賛し、地域のスポーツ振興に寄与している。



株式会社 ルネサンス



健康経営宣言のもと社内の各部活動・活躍支援など従業員への積極的な健康づくりを推奨

当社では、社内でランニングイベントの開催や、部(水泳部・テニス部・駅伝部)の活動を支援しており、実業団大会優勝など好成績を収めている。また、健康アプリを利用した、食事と運動の健康スコアをチームで競うイベントの定期的な開催や、本社従業員向けのトレーニングの参加を促進するなど、健康づくりに関して多様な取り組みを行っている。

活動情報は、社内報や専用ブログにて継続的に発信し、従業員への積極的な健康づくり支援を推進している。

LAWSON

株式会社ローソン



「元気チャレンジ!」と銘打った健康施策を毎年実施し、健康増進を推進

「元気チャレンジ!」と銘打った健康施策を毎年(3か月×2回)実施している。その1つとして歩数チャレンジを実施、3~5名のチームを組み、励まし競い合える機会を作るとともに、アプリ上で毎週ランキングを掲示し、また、チームで週平均8,000歩以上歩いた場合にはPontaポイントを付与し、継続して取り組める工夫をしている。

また、全国各エリアでソフトバレーボール大会を実施し、運動機会の提供、きっかけづくりを行っている。

■東京都スポーツ推進企業 認定マーク

「東京都スポーツ推進企業」として、東京都の認定を受けた証です。
認定を受けた企業は、認定マークを掲出、広告等に表示し、
「東京都スポーツ推進企業」であることをアピールできます。



東京都スポーツ推進企業 認定マーク

平成30年度東京都スポーツ推進モデル企業選定委員会

平成30年度東京都スポーツ推進モデル企業選定委員会委員名簿

(平成31年1月現在)

	氏 名	役 職
1	きむら かずひこ 木村 和彦	早稲田大学スポーツ科学学術院教授
2	はつせ ゆうすけ 初瀬 勇輔	一般社団法人 日本パラリンピアンズ協会理事
3	まるやま ただし 丸山 正	公益財団法人 日本レクリエーション協会専務理事
4	そめや まさかつ 染谷 政克	東京商工会議所 サービス・交流部長
5	さいとう はるのぶ 齊藤 陽睦	東京都オリンピック・パラリンピック準備局 スポーツ推進部障害者スポーツ課長
6	なかつぼ なおき 中坪 直樹	東京都福祉保健局保健政策部健康推進課長

委員からの主なコメント

- 非正規社員を含む全社員が参加する取組は参考になる
- 職場環境に合わせた取組は参考になる
- 社員の日常的な運動を支援している取組は参考になる
- 雇用アスリートを活用した地域密着の取組は参考になる

平成 30 年度東京都スポーツ推進企業取組事例集

平成 31 年 3 月発行

印刷物規格表 第 2 類

印刷番号 (30) 90

発 行 東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03 (5320) 7723 FAX 03 (5388) 1337
ホームページ <https://www.sports-tokyo.info/>

印 刷 正和商事株式会社
〒161-0032 東京都新宿区中落合一丁目6番8号
電話 03 (3952) 2154 FAX 03 (3952) 2158



古紙・再生紙配合率70%以上を使用しています



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

SPORTS PROMOTION COMPANY

問合せ先:東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課
〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号
TEL 03-5320-7723